v1
R10

DYNEX™

地上・BS・110 度 CS デジタルハイビジョン液晶テレビ

DX-26E150J11 （26V 型）
DX-19E150J11 （19V 型）

本製品を適切かつ安全に使用するために、この取扱説明書をよくお読みください。お読みになった後は、いつでも見られるところに必ず保管してください。

取扱説明書

Dynex DX-19E150J11/DX-26E150J11
（19 インチ）　（26 インチ）
地上・BS・110 度 CS デジタル
ハイビジョン液晶テレビ

目次

安全上のご注意 1
- 画面の焼き付き現象について 4
- お手入れについて 4

付属品を確認する 4

スタンドを取り付ける..... 4
- スタンドを取り付ける 4

テレビを設置する 5
- 設置場所の選択 5
- 転倒防止の処置をする 5
- 電源コード固定ストラップを使う 5

各部の名前と動き 5
- 前面 5
- 上面 6
- 下面 6
- 背面 6
- 背面 7
- リモコン 7

テレビを見るための準備をする..... 8
- リモコンの準備をする 8
- B-CAS カードを挿入する 9
- アンテナや外部機器と接続する 10
- アンテナを接続する 10
- HDMI 機器と接続する 10
- ビデオ、DVD プレーヤーなどを接続する 11
- D 端子機器との接続する 11

外部機器と接続する（応用編）..... 12
- ヘッドホンと接続する 12
- パソコンと接続する 12
- ネットワークへの接続 13
- 電源に接続する 14

テレビを見るための設定をする..... 14
- 電源を入れる 14
- 地上デジタル放送のチャンネルを設定する 14
- BS デジタル放送のチャンネルを設定する 15
- 110 度 CS デジタル放送の
チャンネル設定をする 15
- 地上アナログ放送のチャンネル設定をする 16
- BS/CS アンテナ電源を設定する 16
- 信号強度を確認する 16
- 地域設定、郵便番号を設定する 16

テレビを見る 17
放送を切換える／ビデオなどを見る 17
チャンネルを切換える 18
音量を調節する 18
音声を切換える 18
画面表示を表示する 18
番組表（電子番組表）を使う 18
データ放送見る 19
メニュー画面を使用する 20
メニュー画面の概要 20
映像を調整する 21
音声を調整する 22
地上アナログ放送を設定する 23
各種設定をする 23
地デジ /BS/110 度 CS デジタル放送の設定をする 24
デジタル放送共通設定をする 24
暗証番号を設定し視聴できる番組を制限する 25
リモコン設定 26
お知らせを見る 26
チャンネルをスキップする（とばす） 26
PC 設定をする 27
壁掛け金具を取り付ける 27
地上デジタル放送チャンネル一覧 28
仕様 31
困ったときには 32
保証書とアフターサービスについて 34
商標について 35
廃棄について 35

DYNEX™

地上・BS・110 度 CS デジタルハイビジョンテレビ
ＤＸ－１９Ｅ１５０Ｊ１１　（19V 型）
ＤＸ－２６Ｅ１５０Ｊ１１　（26V 型）

安全上のご注意

ご使用の前にこの『安全にお使いいただくために』をよくお読みください。

本製品は安全に充分配慮して設計されていますが、電気製品は全て間違った使い方をすると、火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。

事故を未然に防止するために次のことを必ずお守りください。

■絵表示について

製品を安全に正しくお使いいただき、 あなたや他の人への危害や財産への損害を未然に防止するために、 様々な絵表示をしています。 その意味と表示は次のようになっています。

⚠危険	「人が死亡または重傷を負う可能性があり、かつその切迫の度合いが高いと想定される内容」です。
⚠警告	「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」です。
⚠注意	「人が傷害を負うことや財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■絵表示の例

△	の記号は「注意（警告を含む）をうながす事項」を示します。
⃠	の記号は「してはいけない行為（禁止事項）」を示します。
●	の記号は「しなければならない行為」を示します。

⚠警告

万一、異常や故障が発生したときはすぐに使用をやめてください

次のようなときは、そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。
お客様による修理は危険ですから絶対おやめください。

- ●煙が出ている、変なにおいや音がする（異常状態）
  煙が出なくなるのを確認し、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。
- ●本機の内部に水などが入った
- ●異物が本機の内部に入った
- ●映像や音が出ないなど（故障状態）
- ●落としたりして、本機を破損した

⚠警告

電源について

禁止

■コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流 100V(50/60Hz) 以外では使用しない

たこ足配線などで定格を超えると、 発熱により、 火災の原因になります。 海外などで、 異なる電源電圧で使用すると火災や感電の原因となります。

■電源コードを傷つけない

火災や感電の原因となります。
- ●電源コードの上に重いものを乗せない
- ●電源コードを加工したり、 傷つけたりしない
- ●ねじったり、 引っ張ったり、 無理に曲げたりしない
- ●熱器具に近づけたり加熱しない
- ●移動させるときは電源プラグを抜く

万一、 電源コードが痛んだ場合には、 お買上げの販売店に修理をご依頼ください。

⚠警告

電源について

ぬれ手禁止

■濡れた手で電源プラグに触らない

感電の原因になります

指示

■電源プラグは根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全ですと、火災、感電、ショートなどの原因となります。また、根元まで差し込んでもゆるみがあるコンセントには、つながないでください。

設置について

禁止

■包装に使用しているビニール袋でお子様が遊んだりしないように注意する

かぶったり、飲み込んだりすると窒息のおそれがあります。万一、飲み込んだ場合には、直ちに医師に相談してください。

■不安定な場所に置かない

落ちたり倒れたりして、けがの原因となります。

風呂、シャワー
室での使用禁止

■屋外や窓際、浴室等、水のかかるおそれのある場所には置かない

火災、感電の原因となります。

禁止

■上に物を置かない

内部に金属類や液体が入った場合、火災、感電の原因となります。また、重いものなどが落下した場合、けがの原因となります。

指示

■本機の上面、左右、後面は10cm以上の間隔をおいて設置する

内部に熱がこもり火災の原因となることがあります。

■壁掛け設置工事は、工事専門業者にご依頼ください

工事が不完全な場合、けがの原因となります。

使用について

分解禁止

■修理・改造・分解はしない

内部には電圧の高い部分があり、感電・火災の原因となります。内部の点検・調整および修理はお買い上げの販売店にご依頼ください。

禁止

■異物をいれない

通風孔などから金属類や紙・液体などの異物が入れると火災・感電の原因となります。
- ●特にお子様には、ご注意ください。

■雷が鳴りだしたら、アンテナ線や電源プラグには触れない

感電の原因となります。

お手入れについて

指示

■電源プラグのほこり等は定期的に取り除く

ほこり等がたまると、湿気等により絶縁不良になり火災の原因となります。
- ●電源プラグをコンセントから抜き、乾いた布でふいてください。

⚠注意

電源について

指示

■電源プラグを持って抜く
電源コードを引っ張ると破損し、火災、感電、ショートの原因となるおそれがあります。

■長期間使用しないときは電源プラグをコンセントから抜く
旅行などで長期間ご使用にならないときは、安全のために必ず電源プラグを抜いてください。

電源プラグをコンセントから抜け

■他機器との接続するときは電源プラグを抜く
感電の原因となります。
また、他機器と接続する際には、各々の取扱説明書にしたがって接続してください。

設置について

指示

■本機はコンセントから電源プラグが抜きやすいように設置する
万一の異常や故障の時、すぐに電源プラグが抜けるようにしてください。

禁止

■温度の高い場所に置かない
直射日光の当たる場所やストーブのそばなど、温度の高い場所に置かないでください。
火災や本体の変形・破損の原因となります。

■湿気、ほこりの多い場所や油煙、湯気が当たる場所に置かない
火災、感電の原因となります。

■通風孔をふさがない
内部に熱がこもり火災の原因となることがあります。
- あお向けや横倒し、逆さまにしない
- 風通しの悪い場所で使用しない
- ホットカーペットの上に置かない
- 本機の上に布などをかけない

■本機の周りに水などの入った容器を置かない
内部に水などが入った場合、火災、感電の原因となります。

指示

■電源・接続ケーブルを足にひっかけたりしないように処理する
けがや本機の破損、火災、感電の原因となることがあります。

■キャスター（車）付きのテレビ台に設置する場合にはキャスターが動かないように固定する
テレビ台が動き、本機の破損、けがの原因となることがあります。

■機器相互の干渉に注意する
本機の近くで携帯電話などの電子機器を使うと、電磁波妨害により映像が乱れたり、雑音が発生することがあります。

■付属の転倒・落下防止部品を使用して固定する
転倒、落下防止の処置をしないとテレビの転倒・落下によって、けが等の危害が大きくなることがあります。
※すべての地震などに対して効果を保証するものではありません。

■アンテナ設置工事は、お買い上げの販売店にご依頼ください
アンテナが倒れた場合、感電の原因になることがあります。
- 送電線から離れた場所に設置してください。
- BS、CS放送受信用のアンテナは強風の影響を受けやすいのでしっかり取り付けてください。

⚠注意

使用について

禁止

■液晶画面を強く押したり、強い衝撃を与えない
液晶画面が破損するおそれがあります。
液晶画面が破損した場合は、画面内部の液体には絶対に触れないでください。
- 口に入った場合は、直ぐにうがいをし医師に相談してください。
- 目に入ったり皮膚に付着した場合は、直ちにきれいな水で充分に洗い流し、医師に相談してください。

■本機の上にのったり、ぶらさがったりしない
本機が倒れたりして、けがの原因となります。

■本機に殺虫剤など、揮発性のものをかけない
本機が変質したり塗装がはげたりします。

■本機にゴムやビニール製品などを長時間接触させない
本機が変質したり塗装がはげたりします。

指示

■音量に注意する
- 周辺の人に迷惑とならないよう適度の音量でお楽しみください。特に夜間は、窓を閉めたりヘッドホンの使用をおすすめします。
- ヘッドホンを使用する際は音量を上げすぎないようにご注意ください。
  耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

移動について

指示

■開梱や持ち運びは、無理のない人数で取り扱う
無理をすると、からだを痛めたり、本機を落としてけがや本機の破損の原因となります。

■衝撃を与えないように丁寧に取り扱う
本機の破損の原因となります。

■移動させる前に電源プラグを抜き、接続ケーブルなどを取り外す
火災、感電の原因となります。

お手入れについて

電源プラグをコンセントから抜け

■お手入れの際は電源プラグを抜く
電源プラグを差し込んだままお手入れすると、感電の原因になります。

指示

■通風孔に付着したゴミやホコリはこまめに取り除く
長い間掃除をしないと内部にホコリがたまり、火災や故障の原因となることがあります。
※内部の掃除は危険です。お買い上げの販売店に依頼してください。

■液晶画面のお手入れのしかた
- 乾いた柔らかい布で軽く拭きとってください。
  硬い布で拭いたり、強くこすったりすると、液晶画面の表面に傷がつきます。ご注意ください。
- 液晶画面の表面にホコリがついた場合には、市販の除塵用ブラシ（静電気除去ブラシ）をお使いください。
- 化学ぞうきんは使用しないでください。

■キャビネットのお手入れのしかた
- ベンジンやシンナー、殺虫剤は使用しないでください。
  本機が変色したり塗料がはげるなどの原因となります。
- スプレー洗剤は直接かけないでください。
- 柔らかい布で軽く拭きとってください。
- 汚れがひどいときは、布を水で薄めた中性洗剤によく浸し、よく絞って拭き取り、乾いた布で仕上げてください。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書にしたがってください。

電池についての安全上のご注意

⚠危険

禁止

■液漏れ、発熱、破裂、発火の原因となります。ご注意ください。

・指定以外の乾電池は使用しない
・電池の端子部（＋と−）を逆にして使わない
・異なる種類、銘柄の電池、新旧電池を混ぜて使わない
・充電、分解、加工、加熱しない。火の中へ入れない
・水などの液体で濡らさない
・踏みつけたり、落下させたりするなど衝撃を与えない

指示

・直射日光が当たる場所や温度が高くなる場所に放置しない
・電池は使い切ったら、早めに取り出す
・湿気、ほこりの多い場所や、油煙、湯気が当たる場所で使用、放置しない
・乾電池は使用推奨期限内のものを使用する
・長期間使用しないときは、リモコンから電池を取り出す

指示

■電池が液漏れしたときは

・電池の液が漏れたときは素手で液に触らないでください。
・液が目に入ったときは失明の原因になるため、目をこすらず、すぐにきれいな水で充分に洗い流し、ただちに医師に相談してください。
・液が身体や衣服についたときには火傷やけがの原因になるため、すぐにきれいな水で充分に洗い流し、皮膚に炎症やけがの症状があるときには医師に相談してください。

禁止

■電池を乳幼児のそばに放置しない

万一、飲み込んだ場合は、窒息や胃などへの障害の原因になるのでただちに医師に相談してください。

液晶パネルについて

●液晶パネルは、非常に精密な技術で作られており、99.99%以上の有効画素がありますが0.01%の常時点灯する画素や点灯しない画素があります。これらの画素は少量に抑えられるよう管理していますが、現在の最先端技術でも無くすのは困難です。ご了承ください。
●液晶画面を太陽に向けたままにしないでください。液晶画面が傷むおそれがあります。屋外や窓際等には置かないでください。
●寒い場所でご使用になると、画像が尾を引いて見えたり、画面が暗く見えたりすることがあります。故障ではありません。温度が上がると元に戻ります。
●静止画を継続的に表示した場合、残像を生じることがありますが、時間の経過とともに残像は消えます。故障ではありません。
●使用中に画面やキャビネットが温かくなることがありますが、故障ではありません。

メモリーに保存されるデータについて

●本機のメモリーには、各種機能の設定時にIPアドレス、ブックマーク等が、また、ご使用にあたってはメール、番組購入履歴などが記録されます。
●本機のメモリーには、放送事業者の要求によりお客様が入力した個人情報や、データ放送のポイントなどが記録される場合があります。
●本機を廃棄、譲渡する場合には、本機のメモリーに記録されているデータを消去することを強くお勧めします。
●本機の不具合・修理など、何らかの原因で本機のメモリーに保存されたデータが破損、消去した場合等、いかなる場合においても記録内容の補償およびそれに付随するあらゆる損害について当社は一切責任を負いかねます。また、いかなる場合においても当社にて記録内容の修復はいたしません。予めご了承ください。

廃棄について

●家電リサイクル法では、お客様がご使用済みの液晶テレビを廃棄される場合は、収集・運搬料金、再商品化等料金（リサイクル料金）をお支払いいただき、対象品を販売店や市町村に適正に引き渡すことが求められています。

免責事項について

当社は以下のような事由で生じた損害および付随的な損害に関して、一切の責任を負いません。
●地震・雷・火災などの天災地変、第三者による行為、その他の事故によるもの
●お客様の故意または過失、異常な条件下での使用、取扱説明書の記載内容を守らないことによって生じたもの
●本製品の使用または使用不能から生じたもの（事業利益の損害、事業の中断、視聴料金の損失など）
●他の機器との組み合わせによる誤動作や動作不能、誤操作等から生じたもの
●誤操作や静電気などのノイズによって本機に記憶されたデータ等が変化・消失したことによるもの
●故障、修理、交換等の際に、データが変化・消失したことによるもの

長年ご使用の機器の点検を！

愛情点検

こんな症状はありませんか
・電源を入れても映像や音が出ない
・異常な熱や煙が発生したり変な臭いがする
・電源コードやプラグが異常に熱い
・電源コードに深い傷や変形がある
・その他の異常や故障がある

ご使用中止　故障や事故防止のため、すぐに電源プラグを抜き、必ず販売店に点検・修理をご相談ください。

画面の焼き付き現象について

同一の静止画を長時間繰り返し表示すると残像（焼き付き）が発生する原因になります。ご注意ください。
焼き付きを抑制するために、以下のことにご注意ください。

- 輝度（明るさ）、コントラストの設定を可能な限り下げてください。
- 長時間、同一の静止画を表示しないでください。
- ご使用にならないときは本体の電源を切ってください。

ご注意

焼き付き現象は、次のようなケースで起こりやすくなっております。ご注意ください。

- パソコンやデータ放送、番組表示やゲームのロゴなど映像が切換わらない「静止映像」を長時間表示させ続けた場合
- 4:3 映像をノーマル状態で長時間表示させ続けた場合

※ 画面の焼き付き現象は保証の対象外となります。

お手入れについて

液晶画面のお手入れのしかた

- 乾いた柔らかい布で軽く拭きとってください。
- 液晶画面の表面にホコリがついた場合には、市販の除塵用ブラシ（静電気除去ブラシ）をお使いください。
- 化学ぞうきんは使用しないでください。

キャビネットのお手入れのしかた

- ベンジンやシンナー、殺虫剤は使用しないでください。
- スプレー洗剤は直接かけないでください。
- 柔らかい布で軽く拭きとってください。
- 汚れがひどいときは、布を水で薄めた中性洗剤に浸し、よく絞って拭き取り、乾いた布で仕上げてください。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書にしたがってください。

付属品を確認する

本機には以下の付属品があります。お確かめください。

- ·リモコン ..... (1)
- ·単 4 電池 ..... (2)
- ·スタンド一式
  - スタンド ..... (1)
  - 固定用ネジ ..... (3)
- ·転倒・落下防止部品一式
  - ベルト ..... (1)
  - 取り付けネジ ..... (2)
- ·取扱説明書 ..... (1)
- ·簡単セットアップガイド ..... (1)
- ·B-CAS カード ..... (1)
- ·保証書 ..... (1)
- ·ファーストステップガイド ..... (1)

スタンドを取り付ける

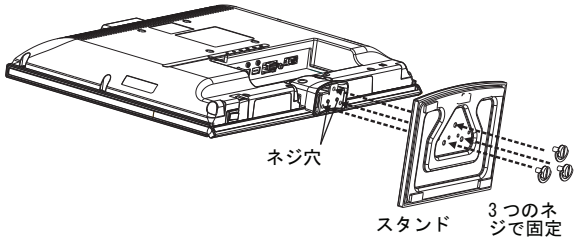
テレビ台など水平なところに設置してください。
壁かけをする際は、本体より支柱を外してください。

ご注意

- スタンドを取り付け、取り外しする際には、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
- スタンドを設置する際は、柔らかい布やクッションを使用し、本体および液晶パネルが傷つかないように、ご注意ください。
- ご不明な点は、お買上げの販売店にご相談ください。
- 当社は設置の際に生じた破損・傷に関して一切の責任を負いません。あらかじめご了承ください。

スタンドを取り付ける

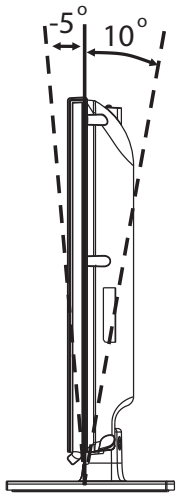
1. 箱からスタンドと固定用ネジを取り出す。
2. テーブルなどの上に柔らかい乾いた布を敷く
   傷がつかないようにテーブルなどの上に柔らかい乾いた布やクッションなどを敷いてください。
3. 本体をテーブルなどの上に置く
   画面を下にして、傷がつかないように注意して本体を布の上に置いてください。スタンドをつけやすいように本体下部をテーブル等の端にあわせてください。
4. 本体にスタンドをつける
   固定用ネジ（付属品）を使用し、スタンドを本体にしっかりと固定してください。



スタンドを取り外すには、上記の手順を反対に行ってください。

画面の角度を調節するには：

- 画面の角度を前方向に 5°、後方向に 10° に調整することができます。



テレビを設置する

設置場所の選択

異常や故障が発生したとき、長時間テレビを使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。
テレビの設置場所を以下に従って選択してください：

- 画面に直射日光があたらない場所。
- 万一の時に電源プラグを直ぐにコンセントから抜ける場所。

ご注意

テレビを暗いところや画面に光が反射した状態では見ないでください。

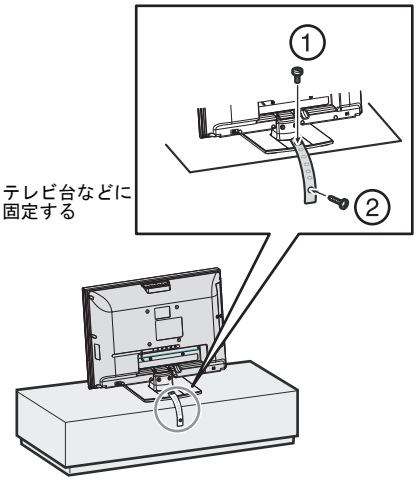
転倒防止の処置をする

転倒・落下防止部品はテレビの落下防止に役立ちますが、すべての地震などに対して効果を保証するものではありません。また、テレビ台の材質などにより使用できない場合があります。その場合、お買い上げの販売店にご相談ください。
テレビを不安定な場所に設置すると落下の可能性があるため危険です。事故を未然に防止する為に以下の注意事項を守ってください。

- テレビを家具または壁にしっかりと固定する。
- ぐらついた台などには設置しないでください。
- テレビ台からテレビがはみ出さないようにする。
- テレビとテレビ台などの間に、布などを敷かないでください。
- テレビ台に乗らないでください。特に小さいお子様がいる場合には、ご注意ください。

転倒・落下防止部品を取り付けるには：

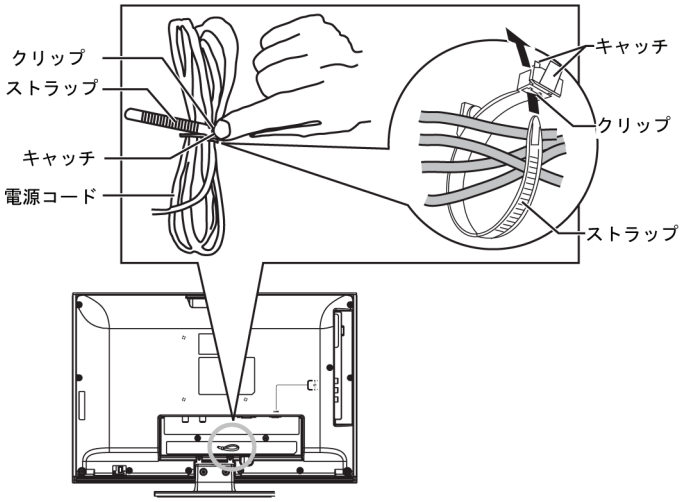
1 転倒・落下防止部品（ベルトと固定用ネジ）を使用して、本機のスタンドをテレビ台の天板などにしっかり固定してください。



2 ベルトのもう一方の端を、固定用ネジ（付属品）などでテレビ台の背板などにしっかりと固定してください。

電源コード固定ストラップを使う

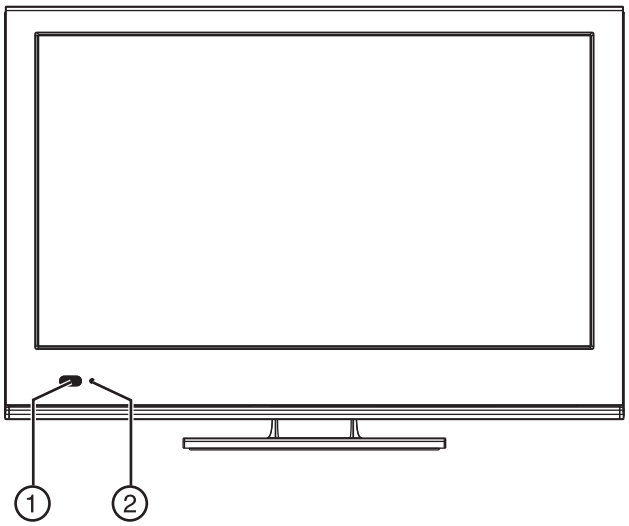
固定ストラップを緩めるにはキャッチをつまんでクリップを緩めます。その後、ストラップを緩めて電源コードを引き出します。



固定ストラップを利用して、AV ケーブルなどをまとめることができます。ストラップでケーブルを巻いて、ストラップの端をクリップの中に通して、締めます。

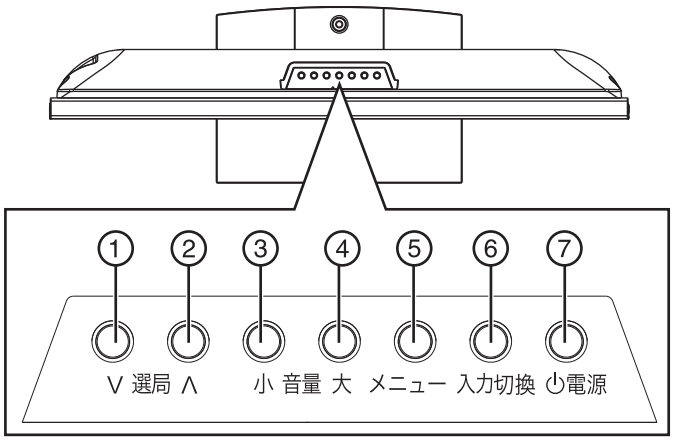
各部の名前と動き

前面



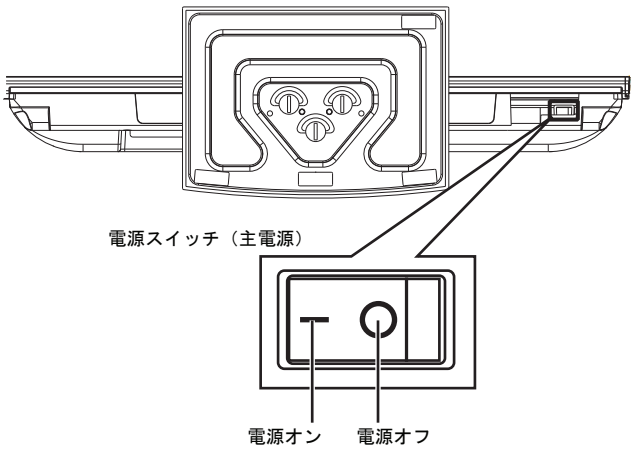
No.	名称	詳細
1	リモコン受光部 / 省エネセンサー	リモコンの信号を受信するセンサーと部屋の明るさを検知するセンサーがある場所。 センサーが正しく動作できなくなりますので、センサーの前に物を置かないでください。
2	電源インジケーター	電源「入」時　　：青色点灯 スタンバイモード時：赤色点灯 電源「切」時　　：消灯 ソフトウェアダウンロード時：点滅 詳細については、「電源を入れる」（14 ページ）をご覧ください。

上面

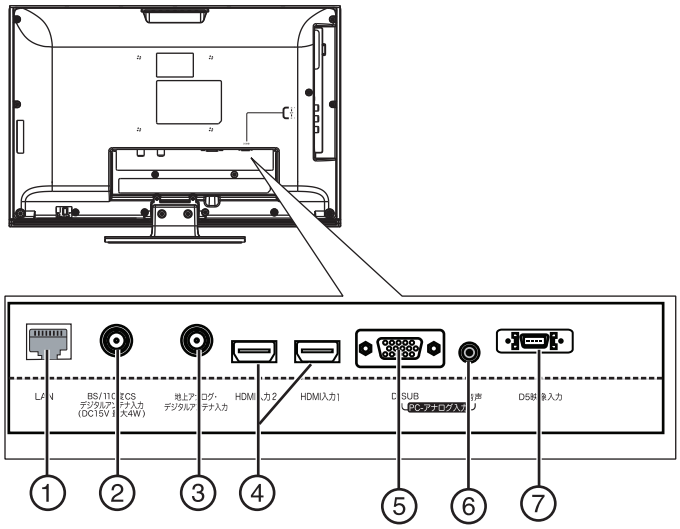


NO.	名称	詳細
1	選局 V	チャンネルを選局します。メニュー画面でカーソルを下に移動します。
2	選局 Λ	チャンネルを選局します。メニュー画面でカーソルを上に移動します。
3	音量小	音量を下げます。メニュー画面でカーソルを左に移動します。
4	音量大	音量を上げます。メニュー画面でカーソルを右に移動します。
5	メニュー	メニュー画面を表示します。
6	入力切換	画面をビデオ等に切換できます。
7	電源 ⏻	テレビの電源を入れます。もう一度押すとテレビをスタンバイモードにします。 詳細については、「電源を入れる」(14 ページ) をご覧ください。

下面

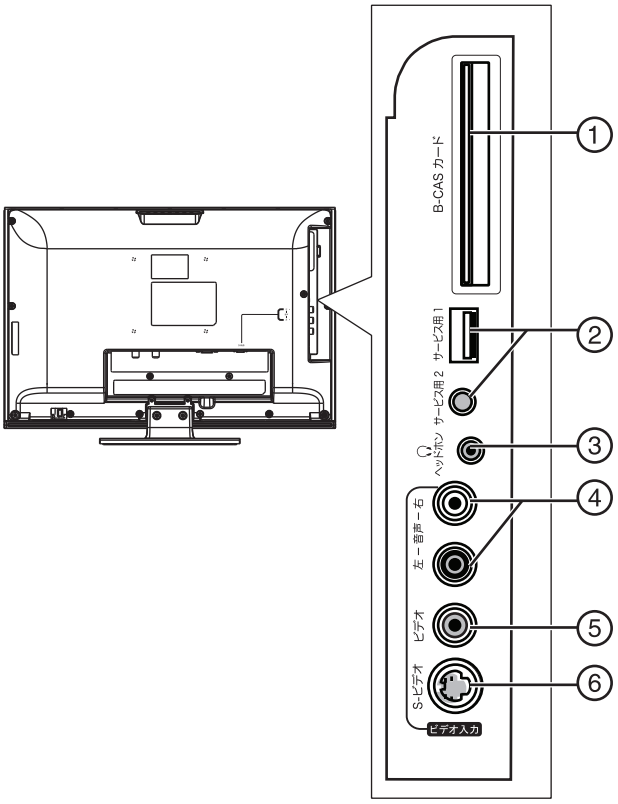


背面



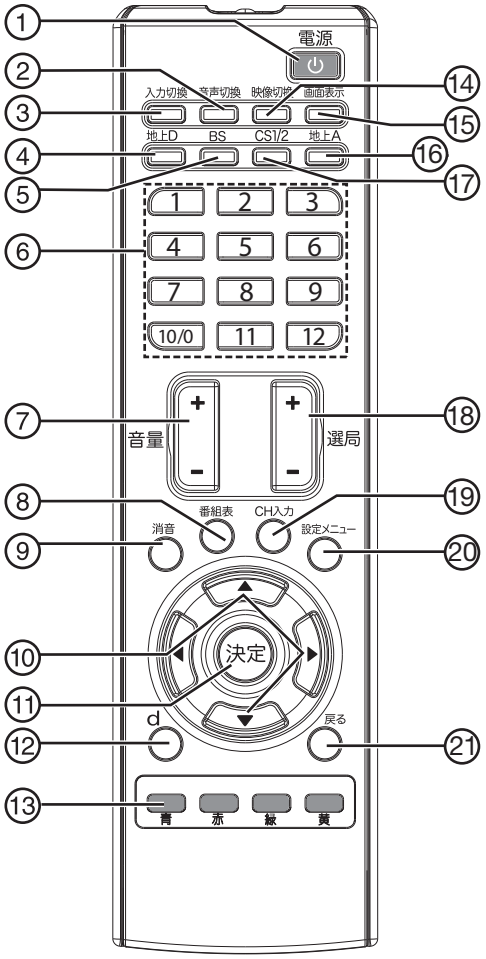
No	名称	詳細
1	LAN 端子	イーサネットケーブルを接続してテレビをネットワークにつなぎます。
2	BS/110 度 CS デジタルアンテナ入力端子	BS/110度CSデジタル用アンテナケーブルを接続します。
3	地上アナログ・デジタルアンテナ入力端子	地上アナログ / デジタル用アンテナケーブルを接続します。
4	HDMI 入力端子	DVD レコーダーなどの HDMI 端子のついた機器を接続します。HDMI ケーブルは 1 本のケーブルで映像と音声の両方の信号を受信できるので、オーディオケーブルを接続する必要はありません。詳細については、「HDMI 機器と接続する」(10 ページ) をご覧ください。
5	D-SUB 端子 (PC アナログ入力)	パソコンのディスプレイケーブル（ミニ D-Sub15 ピン）を接続します。詳細については、「パソコンと接続する」(12 ページ) をご覧ください。
6	音声入力端子 (PC アナログ入力)	パソコン用のオーディオケーブルをこの端子に接続します。詳細については、「パソコンと接続する」(12 ページ) をご覧ください。
7	D5 映像入力端子	D 端子ケーブルをこの端子に接続してください。詳細については「D 端子機器と接続する」(11 ページ) をご覧ください。

背面



No	名称	詳細
1	B-CAS カードスロット	B-CASカードをこのスロットに挿入してください。詳細については、「B-CAS カードを挿入する」(9 ページ）をご覧ください。
2	サービス用ポート	使用しないでください。
3	ヘッドホン端子	ヘッドホンをこの端子に接続します。
4	ビデオ入力端子（音声）	ビデオや DVD プレーヤーなどの機器を接続します。オーディオケーブル（赤・白）をこの端子に接続してください。 ※ D 端子のオーディオ入力としても使用します。
5	ビデオ入力端子（映像）	ビデオや DVD プレーヤーなどの機器を接続します。 ビデオケーブル（黄色）をこの端子に接続してください。
6	S ビデオ端子	Sビデオケーブルをこの端子に接続してください。

リモコン



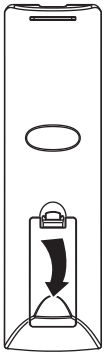
No	名称	詳細
1	⏻（電源）	テレビの電源を入れます。またはテレビをスタンバイモードにします。詳細については、「電源を入れる」(14 ページ）をご覧ください。
2	音声切換	音声モードを切り換えます。デジタル放送については、複数の音声を選択できます（複数の音声が収録されている場合）。 アナログ放送については、主音声、副音声、主＋副音声を選択できます。
3	入力切換	入力切換メニューを開きます。ビデオなどを楽しむときに押してください。▲▼ボタンを押して見たい機器や放送を選択し決定ボタンを押してください。詳細については、「放送を切換える／ビデオなどを見る」(17 ページ）をご覧ください。
4	地上 D	地上デジタル放送に切り換えます。詳細については、「放送を切換える／ビデオなどを見る」(17 ページ）をご覧ください。
5	BS	BS 放送に切り換えます。
6	数字ボタン	見たいチャンネルの番号を押して選局できます。また、視聴年齢制限設定をする際にパスワードを入力するときにも使用します。詳細については、「チャンネルを切換える」(18 ページ）をご覧ください。

No	名称	詳細
7	音量＋／－ボタン	音量の大小を調節します。詳細については、「音量を調節する」(18 ページ）をご覧ください。メニュー画面でカーソルを左右に動かすことができます。
8	番組表	EPG（電子番組表）を表示します。電子番組表は、アナログ放送ではお使いになれません。詳細については、「番組表（電子番組表）を使う」(18 ページ）をご覧ください。
9	消音	音を消します。もう一度押すと消音機能が解除されます。詳細については、「音量を調節する」(18 ページ）をご覧ください。
10	▲ ▼ ► ◄	メニュー画面でカーソルを移動したり、画質などを調整する際に使用します。詳細については、「メニュー画面を使用する」(20 ページ）をご覧ください。
11	決定	メニュー画面で選択した項目を決定します。詳細については、「メニュー画面を使用する」(20 ページ）をご覧ください。
12	d（データ）	データ放送サービスを見ることができます。詳細については、「データ放送を見る」(19 ページ）をご覧ください。
13	カラーボタン（青・赤・緑・黄）	番組表やデータ放送画面で色のついた項目を選択する際に使用します。「番組表（電子番組表）を使う」(18 ページ）をご覧ください。
14	映像切換	複数の映像が収録された番組を視聴する場合ボタンを押すごとに映像を切換えます。詳細については、「チャンネルを切換える」(18 ページ）をご覧ください。
15	画面表示	現在の番組についての情報を表示します。詳細については、「画面表示を表示する」(18 ページ）をご覧ください。
16	地上 A	地上アナログ放送に切換えます。詳細については、「放送を切換える／ビデオなどを見る」(17 ページ）をご覧ください。
17	CS1/2	CS1 と CS2 放送を切換えます。詳細については、「放送を切換える／ビデオなどを見る」(17 ページ）をご覧ください。
18	選局＋／－ボタン	チャンネルを選局できます。メニュー画面でカーソルを上下に移動することができます。
19	CH 入力	CH 入力ボタンを押した後に数字ボタンを押すことにより、直接チャンネルを選局できます。詳細については、「チャンネルを切換える」(18 ページ）をご覧ください。
20	設定メニュー	設定メニュー画面を表示します。詳細については、「メニュー画面を使用する」(20 ページ）をご覧ください。
21	戻る	前の画面に戻ります。

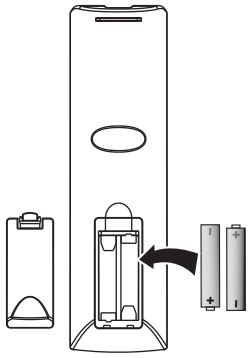
テレビを見るための準備をする

リモコンの準備をする

1 電池収納部カバーのを持ち上げるようにして開けます。



2 単四電池を 2 個入れます。電池の + と－のマークを電池収納部の + と－のマークと合わせて入れてください。



3 カバーを閉めます。

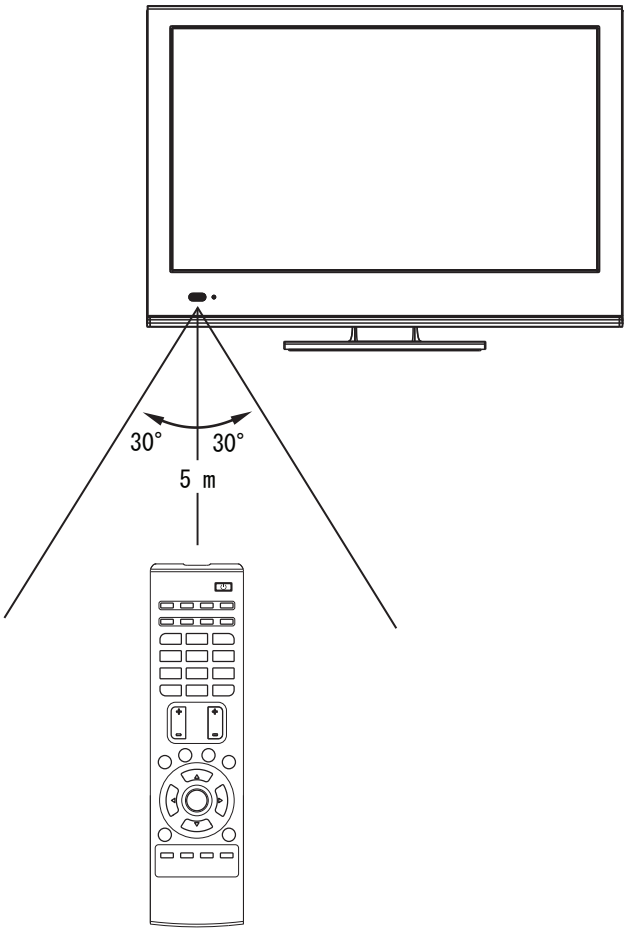
ご注意

- 種類の異なる電池を混ぜて使わないでください。
- 古い乾電池と新しい乾電池を混ぜて使わないでください。
- 使い切った乾電池は取り出してください。
- 乾電池は充電しないでください。 液漏れの恐れがあります。乾電池から漏れた液体には触らないでください。目や皮膚に障害を与えるおそれがあります。
- 長期間使わない場合にはリモコンから電池を取り出してください。
- 電池を火中に投棄しないでください。
- 使用済みの乾電池は、地方自治体またはお住まいの地域で定められた規則に従って廃棄してください。

リモコンの使用範囲について

リモコンを使用するには：

・ リモコンは本体のリモコン受光部に向けて使用してください。



ご注意

・ リモコンに衝撃を与えないでください。また濡らさないでください。
・ 湿度の高い場所でリモコンを使用しないでください。
・ 直射日光の当たる場所にリモコンを置かないでください。
・ リモコンとリモコン受光部の間に障害物を置かないでください。
・ リモコン受光部に直射日光または強い光が当たっていると、リモコンが動作しない場合があります。テレビを移動するか、リモコンの照準を合わせる角度を変えてください。

B-CAS カードを挿入する

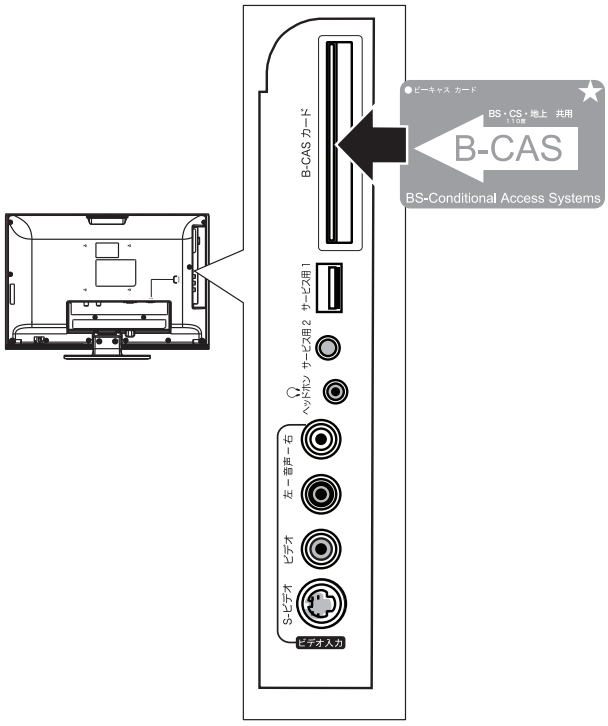
デジタル放送を見るにはB-CASカードが必要です。

ご注意

・ B-CASカードを挿入する前に、B-CASカードの台紙に記載された内容をよく読み、同意の上でB-CASカードを台紙から外してください。

B-CASカードを挿入するには：

1 テレビの電源を切ります。
2 B-CASカードを下図のように本体側面のB-CASカードスロットに奥までしっかりと差し込んでください。
※B-CASカードは本体から約7mm出た状態になります。



ご注意

・ 使用中にB-CASカードをスロットから取り出さないでください。B-CASカードを取り出すと、デジタル放送を視聴できなくなります。
・ B-CASカードの情報（ID番号など）を取得するには、「お知らせを見る」（26ページ）を参照してください。
・ カードを抜き差しするときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。
・ B-CASカードを紛失・破損した場合には、B-CASカスタマーセンターまでご連絡ください。
詳細については「放送などに関するアフターサービス」（35ページ）をご覧ください。

アンテナや外部機器と接続する

ご注意

- 接続を行う前に、端子の位置と形状を確認してください。
- しっかり接続されないと、画像または色に障害が出る可能性があります。すべての接続をしっかり固定してください。
- イラストは、お持ちの機器とは異なる場合があります。接続する機器の取扱説明書をよくお読みください。
- アンテナや外部機器と接続するときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。

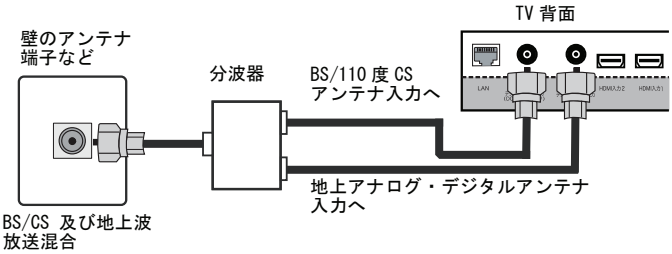
アンテナを接続する

- 地上波放送をご覧になりたい場合には、VHF/UHF アンテナ用ケーブルを、本体背面の地上アナログ / デジタルアンテナ入力端子に接続してください。
- BS/110 度 CS デジタル放送の番組をご覧になりたい場合には、BS/110 度 CS デジタル用アンテナケーブルを、本体背面のBS/CS110度アンテナ入力端子に接続してください。

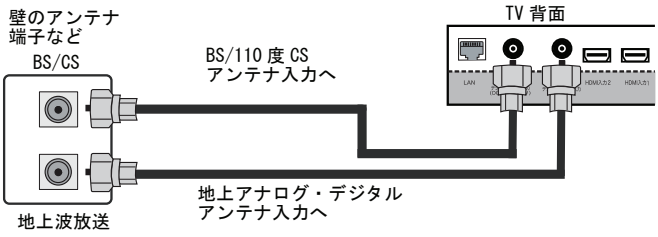
ご注意

下記接続図は一般的な例であり、新たにご用意いただくもの（ケーブル，分波器など）は、お客様によって異なります。詳細についてはお買上げの販売店にご相談ください。

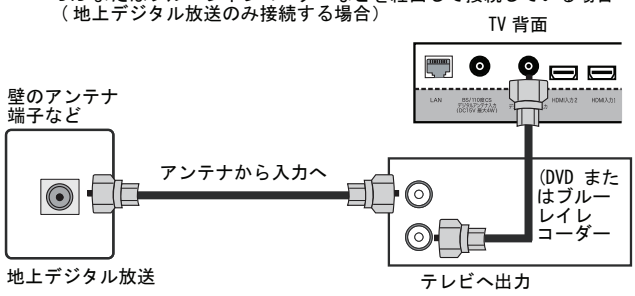
地上波放送用と BS/110 度 CS 用アンテナ端子が一つになっている場合。



地上波放送用と BS/110 度 CS 用アンテナ端子が別になっている場合。



DVD またはブルーレイレコーダーなどを経由して接続している場合
（地上デジタル放送のみ接続する場合）



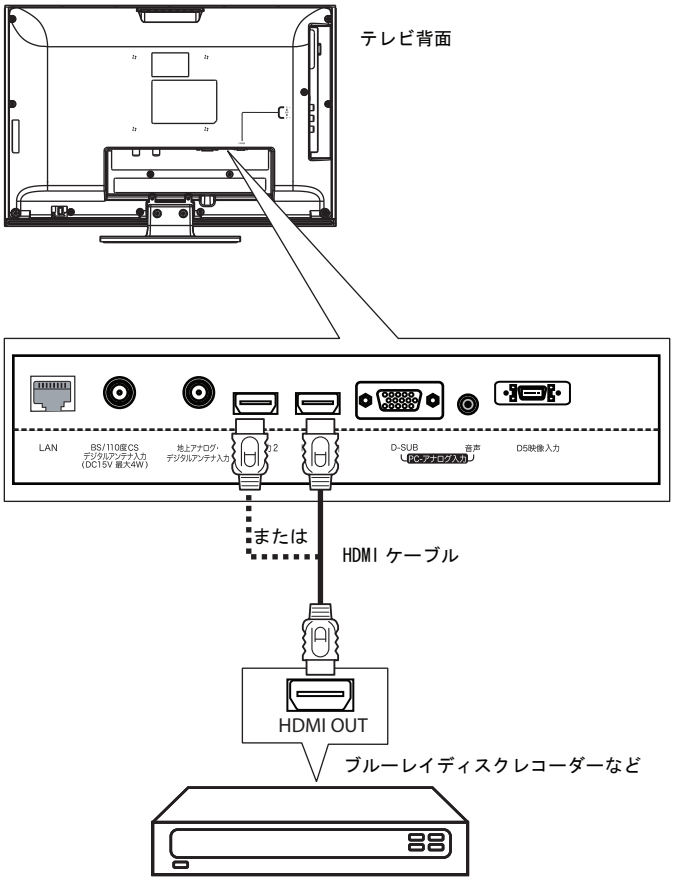
ご注意

アンテナの取り付けと調整については、お買い上げの販売店にご相談ください。

HDMI 機器と接続する

HDMI 機器を接続するには：

1 テレビの電源プラグが抜かれていること、および HDMI 機器の電源が入っていないことを確認してください。
2 HDMI 機器のHDMI 出力端子にHDMI ケーブルを接続します。



3 ケーブルの反対側の端子をテレビ背面のHDMI 入力端子に接続してください。

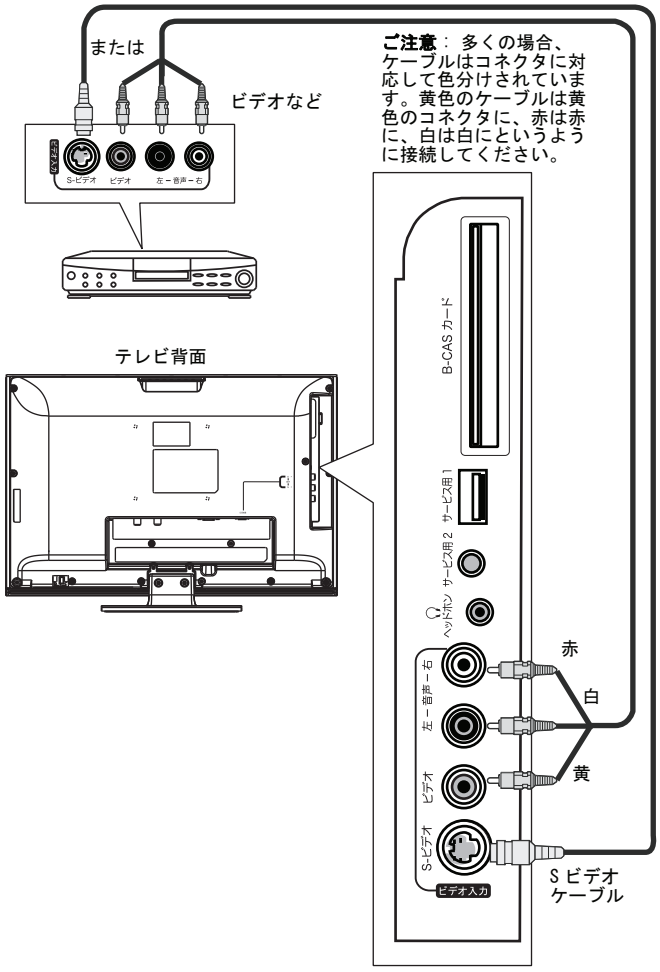
HDMI 機器を再生するには：

1 テレビの電源を入れ、入力切換ボタンを押してください。入力切換メニューが開きます。
2 ▲▼ボタンを押して HDMI1 または HDMI2 を選択し、決定ボタンを押してください。
3 HDMI 機器の電源を入れてください。映像が映らないときには HDMI 機器の映像出力設定を確認してください。詳細については、HDMI 機器の取扱説明書をご覧ください。

ビデオ、DVD プレーヤーなどを接続する

AV 機器を接続するには：

1 テレビの電源プラグが抜かれていること、および AV 機器（ビデオ、DVD プレーヤー、ゲーム機器など）の電源が入っていないことを確認してください。
2 オーディオ・ビデオケーブルまたは S ビデオケーブル（別売）を、ビデオ、DVD プレーヤーなどの AV 出力端子に接続してください。



3 オーディオ・ビデオケーブルまたは S ビデオケーブルを本体側面のビデオ入力端子に接続してください。

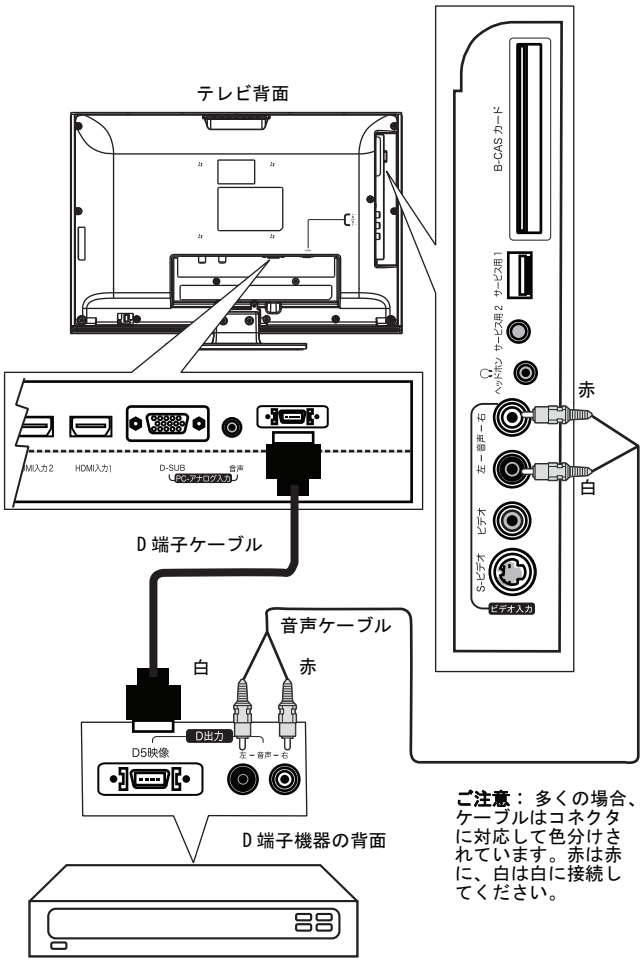
AV 機器を再生するには：

1 テレビの電源を入れ、入力切換ボタンを押してください。入力切換メニューが開きます。
2 ▲▼ボタンを押してビデオを選択し、決定ボタンを押してください。
3 AV 機器の電源を入れてください。再生を始めます。

D 端子機器と接続する

D 端子機器を接続するには：

1 テレビの電源プラグが抜かれていること、および D 端子機器の電源が入っていないことを確認してください。
2 D 端子ケーブル（別売）を、機器の D 出力端子に接続します。



3 ケーブルの反対側の端子をテレビの背面の D 端子（D5 映像入力）に接続してください。
4 オーディオケーブルを、D 端子機器の音声出力端子に接続してください。
5 オーディオケーブルの反対側の端子をテレビ側面の音声入力端子（右ー音声ー左）に接続してください。

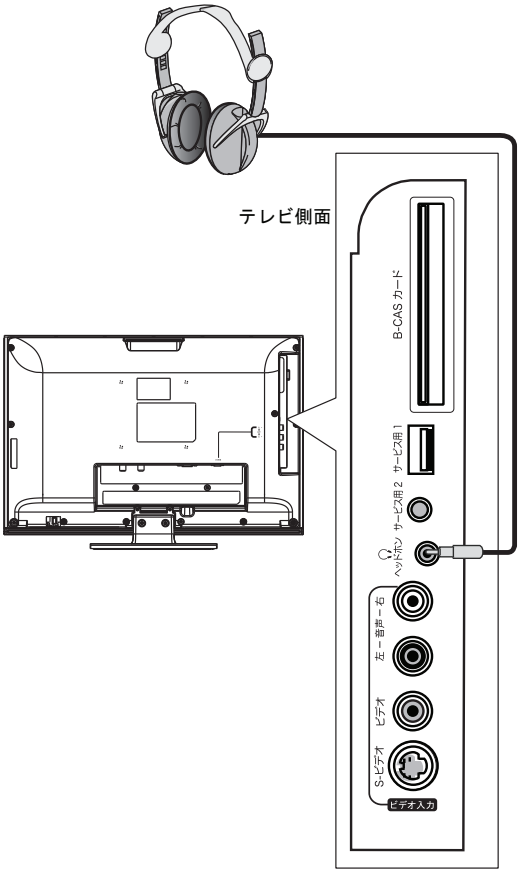
D 端子機器を再生するには：

1 テレビの電源を入れ、入力切換ボタンを押してください。入力切換メニューが開きます。
2 ▲▼ボタンを押して D 端子を選択し、決定ボタンを押してください。
3 D 端子機器の電源を入れてください。再生を始めます。

外部機器と接続する（応用編）

ヘッドホンと接続する

・ヘッドホンを、テレビ側面のヘッドホン端子に接続します。

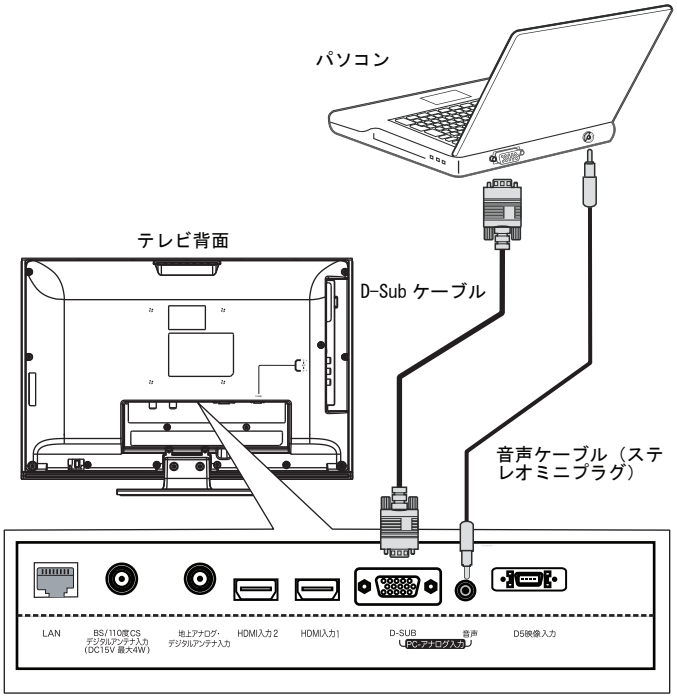


ご注意

・ヘッドホン接続時は、本体スピーカーから音が出ません。

パソコンと接続する

1 テレビの電源プラグが抜かれていること、およびパソコンの電源が入っていないことを確認してください。
2 D-Sub ケーブル（別売）を、パソコンのモニター出力端子（ミニ D-sub15 ピン）とテレビ背面の D-SUB 端子に接続してください。



3 音声ケーブル（別売）を、パソコンの音声出力端子とテレビ背面の音声入力端子に接続してください。

ご注意

・音声ケーブルにはステレオミニプラグを使用してください。

パソコンの映像を再生するには：

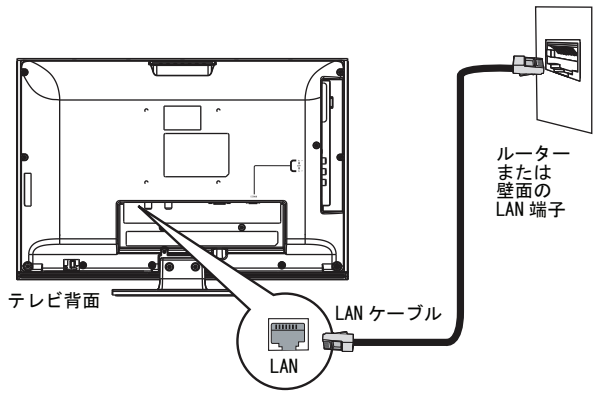
1 テレビの電源を入れ、入力切換ボタンを押してください。入力切換メニューが開きます。
2 ▲▼ボタンを押して PC を選択し、決定ボタンを押してください。
3 パソコンの電源を入れてください。必要に応じてパソコンのディスプレイの解像度を調節してください。

ネットワークへの接続

本機能を使用するには別途通信業者やプロバイダーとの契約が必要です。インターネットを経由してデジタル放送の一部の双方向サービスを利用することができます。
※ホームページの閲覧などはできません。

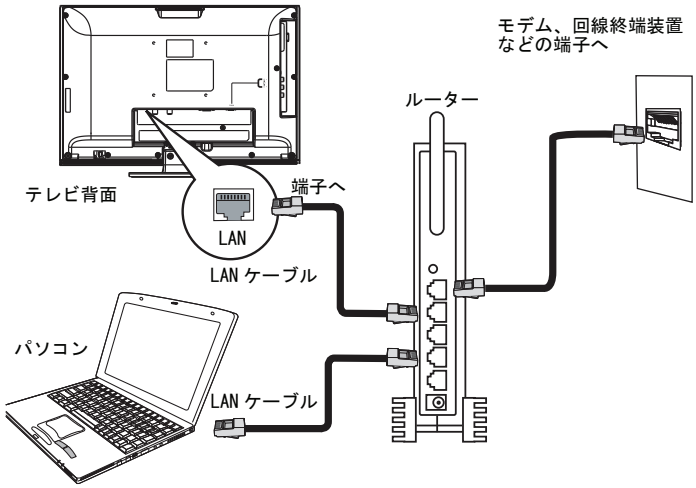
ネットワークに接続するには：

・テレビ背面の LAN 端子と壁の LAN 端子をケーブルで接続してください。



ルーター使用時の接続例：

1 テレビ背面の LAN 端子に LAN ケーブルを接続してください。
2 ルーターのLAN端子にLANケーブルを接続してください。

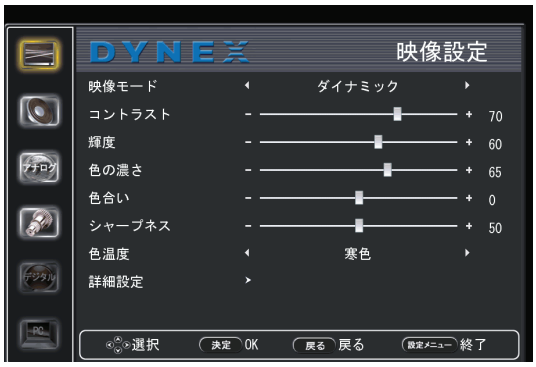


ご注意

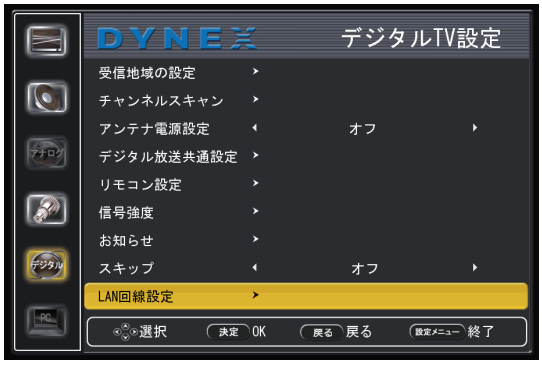
・本機では、ルーターやルーター内蔵モデムの設定はできません。これらの機器によっては、パソコンの設定が必要な場合があります。
・通信事業者やプロバイダーとの契約によっては、本機やパソコンなどの機器を複数接続できないことがあります。
・上図は一般的な例です。お客様やネットワーク環境によって接続方法が異なります。通信事業者やプロバイダーの取扱説明書をよくお読みください。
・ご不明な点は、ご契約の通信事業者やプロバイダーにお問い合わせください。

ネットワークの設定：

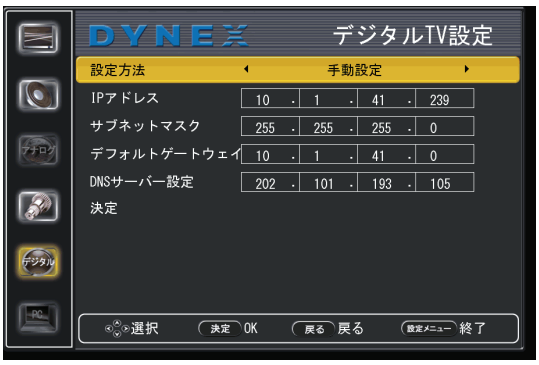
1 リモコンの地上 D、BS、または CS1/2 ボタンを押し、画面をデジタル放送に切換え、設定メニューボタンを押してください。メニュー画面が表示されます。



2 ▲▼ボタンを押してデジタル TV 設定を選択し、決定ボタンを押してください。デジタル TV 設定画面が表示されます。



3 ▲▼ボタンを押し、LAN 回線設定を選択し、決定ボタンを押してください。



4 ▲▼ボタンを押して設定方法を選択し、◄► ボタンを押して手動設定（ネットワークを手動で設定）またはオート（IP アドレスなどを自動的に取得）を選択してください。
※工場出荷時はオートに設定されています。

5 手動に切換えた場合には、以下の設定をしてください。
・**IP アドレス**：▲▼ボタンを押して IP アドレスを選択し、数字ボタンを押して IP アドレスを入力してください。◄►ボタンを押してカーソルを移動します。
・**サブネットマスク**：▲▼ボタンを押してサブネットマスクを選択し、数字ボタンを押してサブネットマスクを入力してください。◄►ボタンを押してカーソルを移動します。
・**デフォルトゲートウェイ**：▲▼ボタンを押してデフォルトゲートウェイを選択し、数字ボタンを押してデフォルトゲートウェイを入力してください。◄►ボタンを押してカーソルを移動します。

・**DNS サーバー設定**：▲▼ボタンを押して DNS サーバー設定を選択し、数字ボタンを押して DNS を入力してください。◀▶ボタンを押してカーソルを移動します。

ご注意

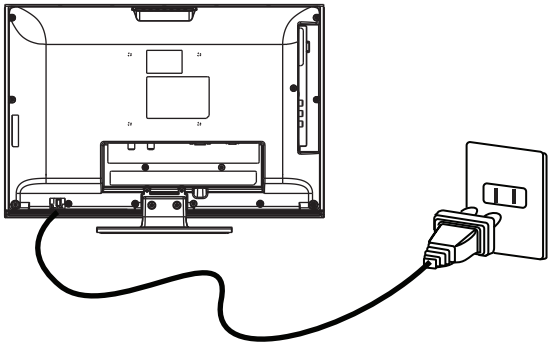
・詳細についてはご契約のインターネットサービスプロバイダーにお問い合わせください。

6 ▲▼ボタン押し決定を選択し、決定ボタンを押します。

電源に接続する

電源に接続するには：

・電源プラグをご家庭のコンセントに差し込みます。



ご注意

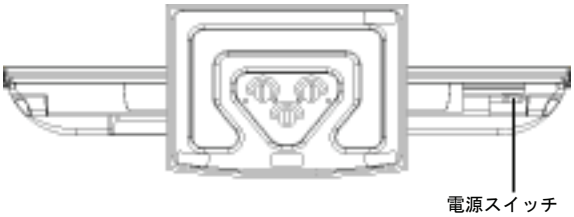
・本機器は国内AC100Vの電源以外では使用しないでください。

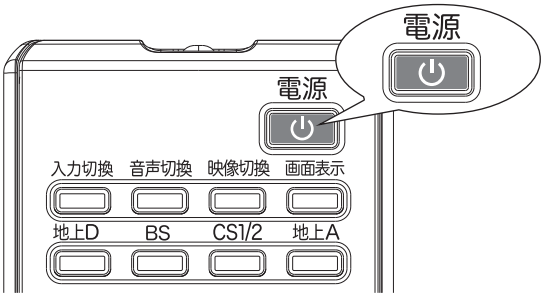
テレビを見るための設定をする

電源を入れる

テレビをつける / 消すには（スタンバイモード）：

1 テレビの電源スイッチ（主電源）を押します。テレビがスタンバイモードになります。電源インジケーターが点灯するまで待ち、本体またはリモコンの⏻（電源）ボタンを押すとテレビの電源が入ります。





2 もう一度⏻（電源）ボタンを押すとスタンバイモードになります。

3 テレビの電源を完全に切るには、本体下部の電源スイッチ（主電源）を切ってください。

ご注意

・信号を受信できない状態が数分間続いたときには、自動的にスタンバイモードになります。

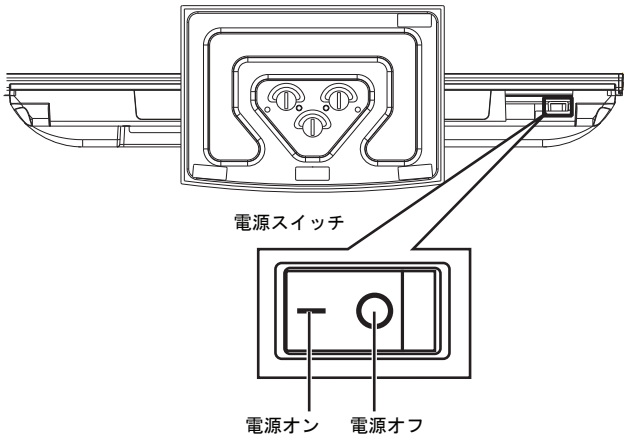
・ソフトウェアをダウンロードするために、電源スイッチ（主電源）は異常や故障が発生したときや長期間使用しないとき以外は切らないでください。

地上デジタル放送のチャンネルを設定する

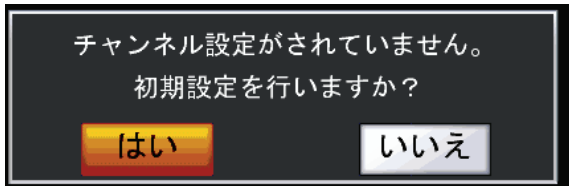
地上デジタル放送のチャンネルを設定するには：

1 リモコンに電池が入っていること、UHF アンテナが接続されていること、B-CAS カードが正しく挿入されていること、及び電源プラグが接続されていることを確認してください。

2 本体の電源を入れてください。
テレビの電源スイッチを入れ、本体またはリモコンの電源ボタン⏻（電源）を押してください。



3 チャンネル設定確認のメッセージが表示されます。



4 ◀▶ボタンを押して「はい」を選択し、決定ボタンを押してください。地域選択画面が表示されます。

5 ◀▶ボタンを押してお住まいの地域を選択し、決定ボタンを押してください。チャンネルスキャンが開始されます。スキャンが完了すると番組を表示します。

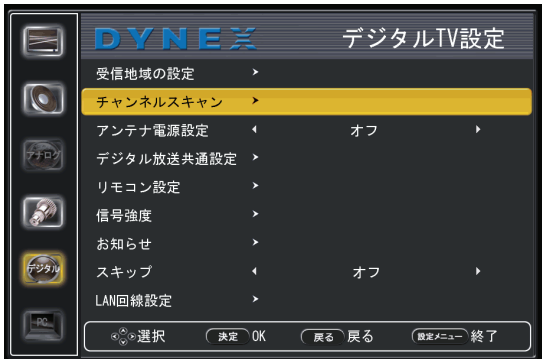
データ放送の地域情報などを取得するには、「地域設定、郵便番号を設定する」(16 ページ）をご覧ください。

BS デジタル放送のチャンネルを設定する

BS 放送はあらかじめチャンネル設定されていますが、万一ご視聴になれないチャンネルがある場合には、以下の手順でチャンネル設定を行ってください。

BS デジタル放送のチャンネルを設定するには：

1 リモコンに電池を入れたこと、BS/CS アンテナを接続したこと、B-CAS カードを正しく挿入したこと、電源コードを差し込んだことを確認してください。
2 テレビの電源を入れてください。
3 BS ボタンを押して BS 放送に切換えてください。設定メニューボタンを押し、メニュー画面を開いてください。
4 ▲▼ボタンを押し、デジタル TV 設定を選択し、決定ボタンを押してください。



5 ▲▼ボタンを押してチャンネルスキャンを選択し、決定ボタンを押してスキャンを開始します。

スキャンが完了すると番組を表示します。
チャンネルスキャン中に、戻るボタンまたは設定メニューボタンを押してスキャンを中断することができますが、BS デジタル放送を視聴するには、再度チャンネル設定をする必要があります。

ご注意

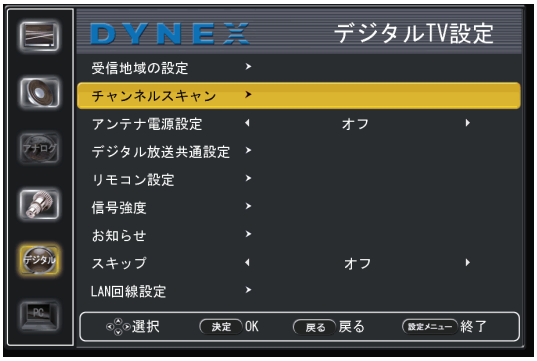
・ BS 放送が正しく受信できない場合には、アンテナ電源設定を変更してください。
詳細については、「BS/CS アンテナ電源を設定する」（16 ページ）をご覧ください。

110 度 CS デジタル放送のチャンネル設定をする

110 度 CS 放送はあらかじめチャンネル設定されていますが、万一ご視聴になれないチャンネルがある場合には、以下の手順でチャンネル設定を行ってください。

110 度 CS デジタル放送のチャンネル設定をするには：

1 リモコンに電池を入れたこと、BS/CS アンテナを接続したこと、B-CAS カードを正しく挿入したこと、電源コードを差し込んだことを確認してください。
2 テレビの電源を入れてください。
3 CS1/2 ボタンを押して 110 度 CS デジタル放送に切換えてください。設定メニューボタンを押し、メニュー画面を開いてください。
4 ▲▼ボタンを押し、デジタル TV 設定を選択し、決定ボタンを押してください。



5 ▲▼ボタンを押してチャンネルスキャンを選択し、決定ボタンを押してスキャンを開始します。

スキャンが完了すると番組を表示します。
チャンネルスキャン中に、戻るボタンまたは設定メニューボタンを押してスキャンを中断することができますが、110 度 CS デジタル放送を視聴するには、再度チャンネル設定をする必要があります。

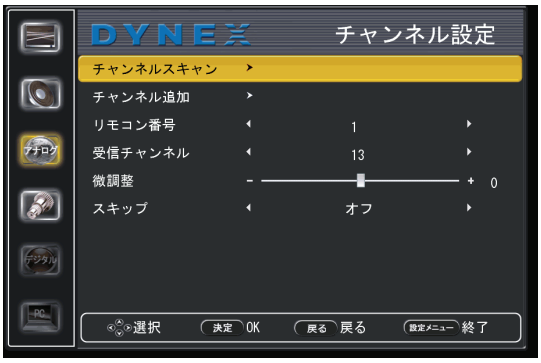
ご注意

・ 110 度 CS 放送が正しく受信できない場合には、アンテナ電源設定を変更してください。
詳細については、「BS/CS アンテナ電源を設定する」（16 ページ）をご覧ください。

地上アナログ放送のチャンネル設定をする

地上アナログ放送のチャンネル設定をするには：

1 リモコンに電池を入れたこと、VHF/UHF アンテナを接続したこと、電源プラグを差し込んだことを確認してください。
2 テレビの電源を入れてください。
3 地上 A ボタンを押して地上アナログ放送に切換えてください。
設定メニューボタンを押し、メニュー画面を開いてください。
4 ▲▼ボタンを押してチャンネル設定を選択し、決定ボタンを押してください。



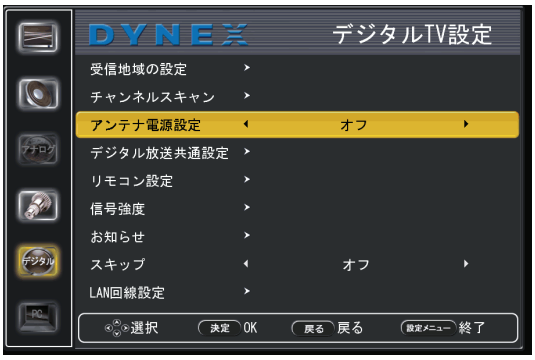
5 ▲▼ボタンを押してチャンネルスキャンを選択し、決定ボタンを押してスキャンを開始します。

BS/CS アンテナ電源を設定する

BS・110 度 CS デジタル用アンテナは電源を必要とします。この設定はアンテナに対して電源を供給するためのものです。お客様の視聴環境に合わせて設定してください。

BS/CS アンテナ電源を設定するには：

1 テレビの電源を入れてください。
2 リモコンの BS または CS1/2 ボタンを押します。



3 設定メニューボタンを押します。
4 ▲▼ボタンを押し、デジタル TV 設定を選択し決定ボタンを押します。
5 ▲▼ボタンを押し、アンテナ電源設定を選択し決定ボタンを押します。
6 ◄►ボタンを押し、設定を変更してください。

・ オート：アンテナ電源の設定を自動的に制御してアンテナに電源を供給します。
・ オン　：テレビからアンテナに電源を供給します。
・ オフ　：テレビからアンテナに電源を供給しません。

※以下のような場合には設定を「オフ」にしてください。
・ マンションなど共聴アンテナで視聴している場合
・ 他の機器からアンテナに電源を供給している場合

信号強度を確認する

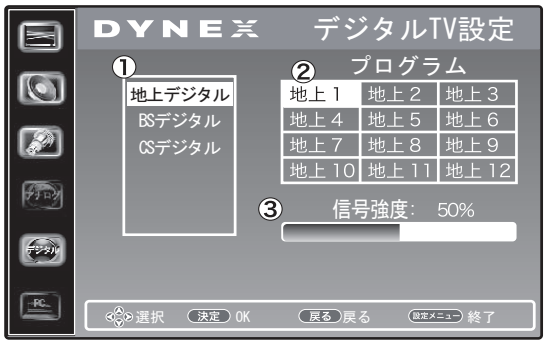
信号強度を本機で確認することができます。
受信強度が 50%以下の場合にはお買い上げの販売店にご相談ください。

ご注意

・ ケーブルテレビ放送については、ご契約のケーブルテレビ会社にお問い合わせください。

信号強度を確認するには：

1 リモコンの地上 D、BS、または CS1/2 ボタンを押し画面をデジタル放送に切換えます。
2 設定メニューボタンを押してください。
3 ▲▼ボタンを押し、デジタル TV 設定を選択し決定ボタンを押します。
4 ▲▼ボタンを押し、信号強度を選択し決定ボタンを押します。



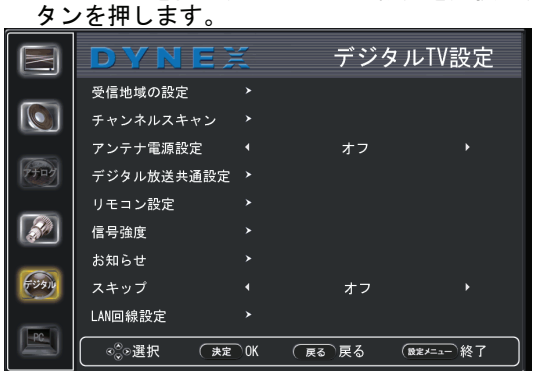
1	放送の種類
2	伝送チャンネル
3	信号強度

地域設定、郵便番号を設定する

デジタル放送は地域ごとに特有の放送が行われる場合があります。お住まいの地域の放送を受信できるように、受信地域の設定を行ってください。「地域選択」はチャンネル設定などに、「郵便番号」はデータ放送の地域情報を得るためなどに使われます。

お住まいの地域または郵便番号を設定するには：

1 リモコンの地上 D、BS、または CS1/2 ボタンを押し、画面をデジタル放送に切換えます。
2 設定メニューボタンを押してください。
3 ▲▼ボタンを押し、デジタル TV 設定を選択し決定ボタンを押します。



4 ▲▼ボタンを押して受信地域の設定を選択し、決定ボタンを押します。

・**「地域の選択」を設定する。**
① ▲▼ボタンを押し、「地域の選択」を選択し決定ボタンを押します。
② ▲▼◀▶ボタンを押し、お住まいの地域を選択し、決定ボタンを押します。
※ 前画面に戻るには、戻るボタンを押してください。
（地域一覧については、下記表をご覧ください）。

地域一覧

北海道
北海道（札幌）
北海道（旭川）
北海道（釧路）
北海道（室蘭）
北海道（函館）
北海道（帯広）
北海道（北見）

東北
青森県
宮城県
山形県
岩手県
秋田県
福島県

関東
茨城県
群馬県
千葉県
栃木県
埼玉県
東京都
神奈川県
東京都島部

甲信越 / 北陸
新潟県
石川県
山梨県
富山県
福井県
長野県

中部 / 東海
岐阜県
愛知県
静岡県
三重県

近畿
滋賀県
大阪府
奈良県
京都府
兵庫県
和歌山県

中国 / 四国
鳥取県
岡山県
山口県
広島県
島根県
香川県
愛媛県
徳島県
高知県

九州 / 沖縄
福岡県
長崎県
大分県
鹿児島県
鹿児島県島部
佐賀県
熊本県
宮崎県
沖縄県

・**「郵便番号」を設定する。**
① ▲▼ボタンを押し、「郵便番号の入力」を選択し、決定ボタンを押します。
② 数字ボタンを押し、郵便番号を入力します。誤って入力した場合には◀▶ボタンを押してカーソルを移動し、再入力してください。
③ 決定ボタンを押します。

テレビを見る

放送を切換える／ビデオなどを見る

放送を切換える／ビデオなどを見るには：

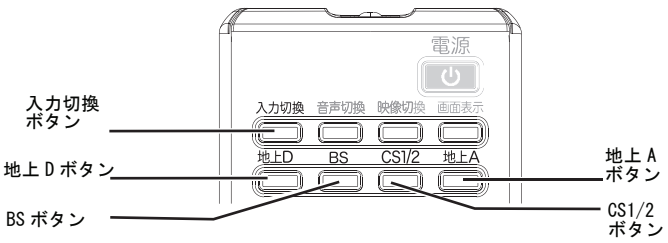
1 テレビの電源を入れ、リモコンの入力切換ボタン を押します。入力切換メニューが表示されます。

2 ▲▼ボタンを押して見たい機器または放送を選択し、決定ボタンを押します。

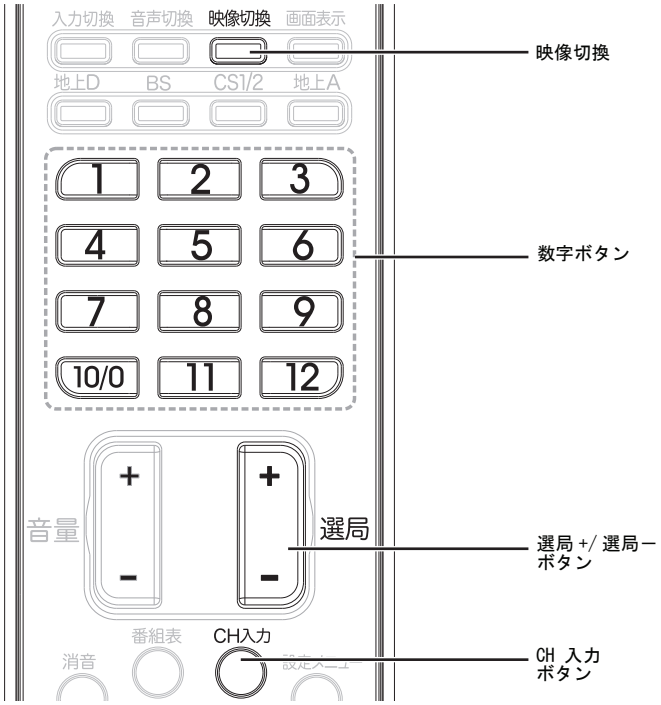
放送をワンタッチボタンで切換えるには：

・ 以下のリモコンのボタンを押すことによりワンタッチで放送（地上デジタル放送、BS デジタル放送など）を切換できます。

・**地上 D ボタン**： 地上デジタル放送に切換えます。
・**BS ボタン**　： BS デジタル放送に切換えます。
・**CS1/2 ボタン**： 110度CSデジタル放送に切換えます。押すごとに CS1 と CS2 を切換えます。
・**地上 A ボタン**： 地上アナログ放送に切換えます。



チャンネルを切換える



チャンネルを切換えるには：

- CH 入力ボタンを押してから番号ボタンを押すと、希望のチャンネルを選局することができます。
- 選局 +/ －ボタンを押して、メモリー内のチャンネルを選局できます。
- カメラアングルを変えた複数の映像が収録された番組を視聴している場合には、映像切換ボタンを押すことにより映像を切換えることができます。

音量を調節する

音量を調節するには：

- 音量 +/ －ボタンを押して音量を調節します。
- 消音ボタンを押すと、一時的にすべての音を消します。消音ボタンをもう一度押すと元に戻ります。

音声を切換える

音声を切換えるには：

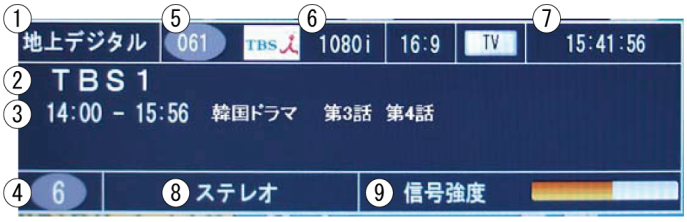
- 音声モードを切り換えます。デジタル放送については、複数の音声を選択できます。(複数の音声が収録されている場合)
- アナログ放送については、主音声、副音声、主＋副音声を選択できます。

※ボタンを押すごとに音声が切換ります。

画面表示を表示する

画面表示を表示するには：

- 画面表示ボタンを押すと番組の情報が表示されます。情報には、チャンネル番号、番組名など現在視聴中の番組情報が表示されます。



モードによって、異なる情報が表示されることがあります。

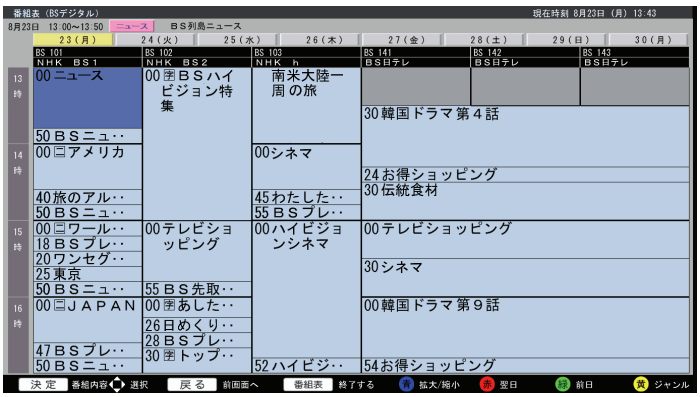
1	受信放送方式
2	テレビ局名
3	現在の番組の放送時間および番組名
4	リモコンチャンネル番号
5	チャンネル番号
6	解像度
7	現在の時刻
8	音声の種類
9	信号強度

番組表（電子番組表）を使う

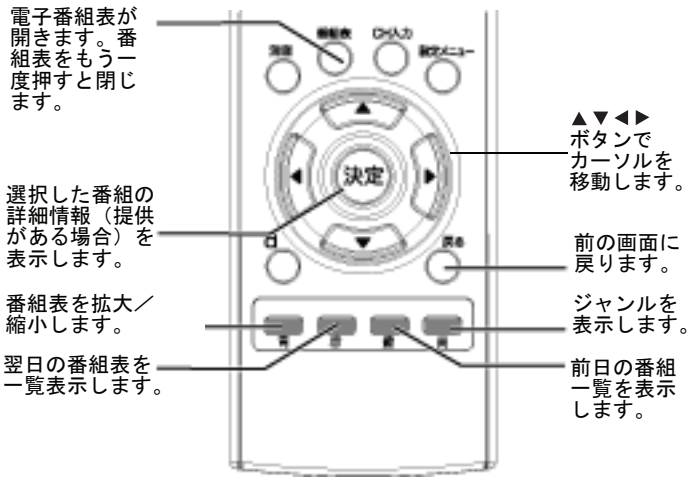
電子番組表では、(提供がある場合、最長 8 日間の）番組スケジュールの詳細を見ることができます。表示される情報は、チャンネルの番号および名称、番組名、開始時刻および終了時刻、概要などです。
下図は BS デジタル放送の番組表の例です。

ご注意

- 番組表情報は、デジタル放送（地上 /BS/110 度 CS デジタル放送）を受信しているときのみ利用可能です。放送局により利用できない場合があります。

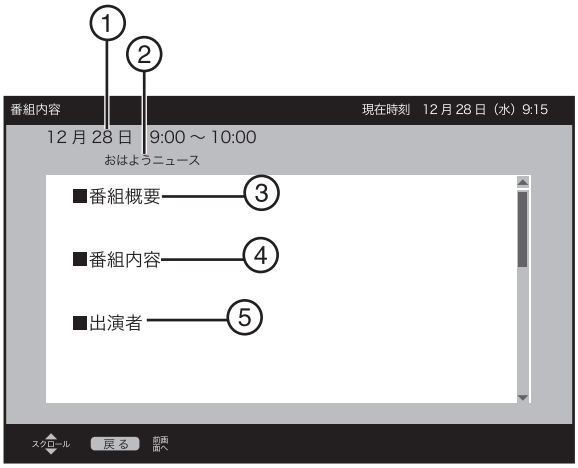


リモコンを利用して番組表を表示できます。



詳細情報を番組表から得るには：

1 リモコンの番組表ボタンを押します。
2 詳細情報を見たい番組を選択して、決定ボタンを押します。詳細情報画面が表示されます（提供がある場合）。

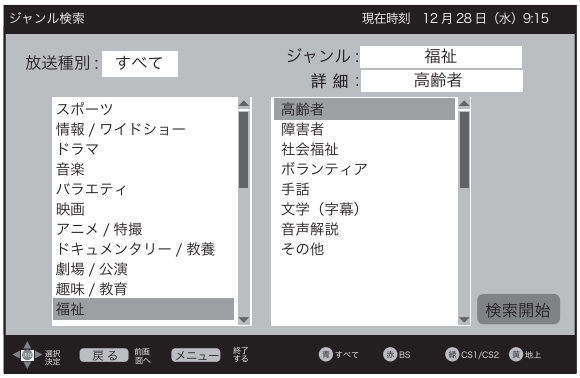


1	放送時間
2	番組名
3	番組概要
4	番組内容
5	出演者

3 ▲▼ボタンを押して、画面を上下にスクロールします。前の画面に戻るには、戻るボタンを押します。

番組表の番組を検索するには：

1 リモコンの番組表を押して黄色ボタンを押します。番組検索画面が開きます。



2 ▲▼◀▶ボタンを押して、「ジャンル」と「詳細」を選択します。
3 ▶ボタンを押して検索開始を選択し、決定ボタンを押します。番組検索を開始します。
4 放送種別に従って番組を検索するには以下のボタンを押します：
- 青ボタン：
  すべてのデジタル番組（地上 /BS/110 度 CS 放送）から検索する。
- 赤ボタン：BS 放送番組を検索する。
- 緑ボタン：110 度 CS デジタル放送を検索する。
- 黄ボタン：地上デジタル放送番組を検索する。

データ放送を見る

1 リモコンの地上 D、BS、または CS1/2 ボタンを押し、画面をデジタル放送に切換えます。
2 d ボタンを押してデータ放送を受信します。データ受信が始まるまで少し時間がかかりますので、画面にデータ情報が表示されるまでお待ちください。

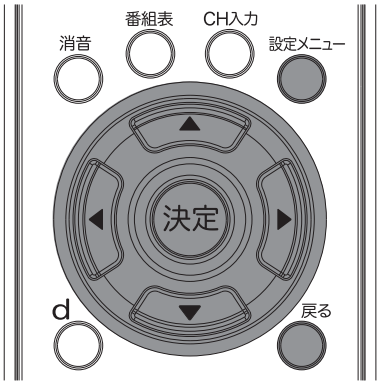
3 ▲▼◀▶ボタンを押して表示したい項目を選択し、決定ボタンを押します。
または
青、赤、緑、黄ボタンを押して、対応する項目表示します。
4 前の画面に戻るには、戻るボタンを押します。
5 データ放送を終了するには、d ボタンをもう一度押します。

ご注意

- データ放送の地域情報を得るために郵便番号を設定してください。
- 詳細については、「地域設定、郵便番号を設定する」（16 ページ）をご覧ください。

メニュー画面を使用する

メニュー画面の概要

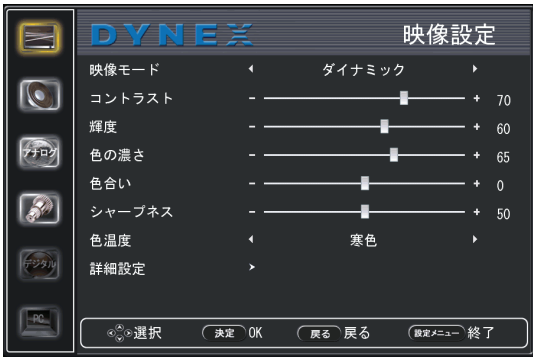


メニュー画面の操作方法：

- 設定メニューボタンを押してメニュー画面を表示します。
- ▲▼ボタンを押して項目を選択し決定ボタンを押します。映像設定、音声設定、チャンネル設定、各種設定、デジタル TV 設定、PC 設定を選択することができます。
- ▲▼◀▶ボタンを押して選択・調整し、決定ボタンを押して確定します。
- 前のメニューに戻るには、戻るボタンを押します。
- メニューを閉じるには、設定メニューボタンを押します。

メニュー画面

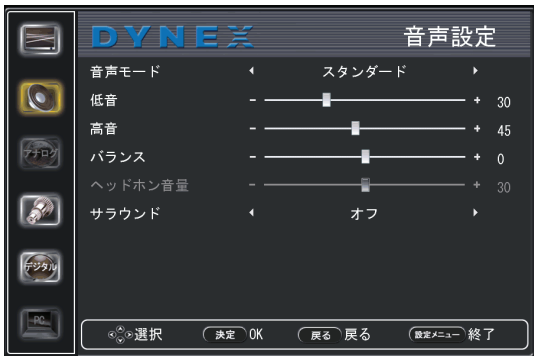
映像設定



映像モード
コントラスト
輝度
色の濃さ
色合い
シャープネス
色温度
詳細設定

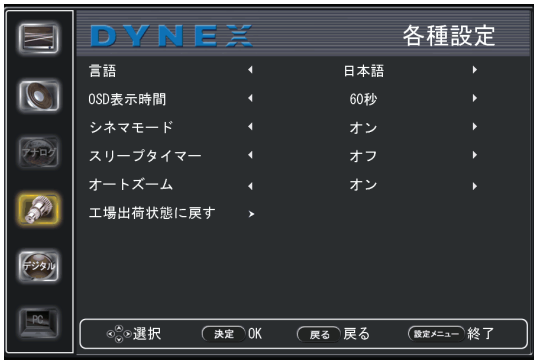
ノイズリダクション
ワイド切換
オーバースキャン
バックライト
省エネセンサー

音声設定



音声モード
低音
高音
バランス
ヘッドホン音量
サラウンド

各種設定



言語
OSD 表示時間
シネマモード
スリープタイマー
オートズーム
工場出荷状態に戻す

チャンネル設定

チャンネルスキャン
チャンネル追加
リモコン番号
受信チャンネル
微調整
スキップ

デジタル TV 設定

受信地域の設定	
チャンネルスキャン	
アンテナ電源設定	
デジタル放送共通設定	ダウンロード設定
	字幕言語
	字幕設定
リモコン設定	文字スーパー設定
	暗証番号設定
信号強度	視聴年齢制限設定
お知らせ	個人情報
スキップ	システム動作テスト
LAN 回線設定	

PC 設定

水平位置
垂直位置
位相
クロック周波数
自動調整

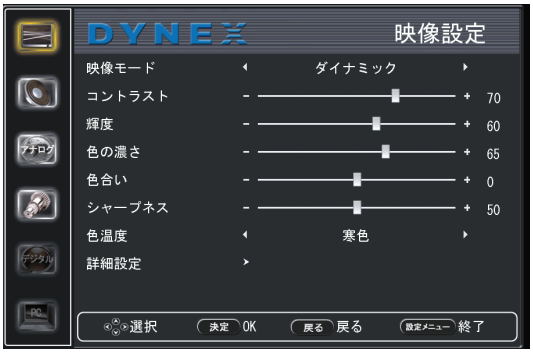
ご注意

- 地上アナログ放送、パソコンなど視聴している放送、機器によって表示される項目が異なります。
- チャンネル設定画面は地上アナログ放送視聴時のみ選択できます。
- デジタル TV 設定は地上、BS、110 度 CS デジタル放送視聴時のみ設定できます。
- PC 設定は PC モードでのみ設定できます。
- グレー（灰色）表示されている項目は選択できません。
- 取扱説明書内のイラストや画面は説明用のものであり、実際のテレビ上の画面とは異なる場合があります。

映像を調整する

映像を調整するには：

1 設定メニューボタンを押します。
メニュー画面表示されます。

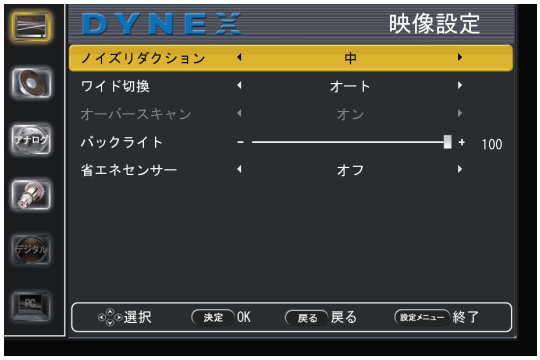


2 ▲▼ボタンを押し、映像設定を選択し、決定ボタンを押します。

3 ▲▼ボタンを押し、設定したい項目を選択し決定ボタンを押します。◀▶ボタンを押して調整します。
調整できる項目は以下のとおりです：

- **映像モード**：映像モードを変更できます。
  選択できる内容は次の通りです：
  - **ダイナミック**（明るく鮮明な画像）
  - **スタンダード**（標準的な画像）
  - **省エネ**（明るさを抑えた省電力画像）
  - **シアター**（映画鑑賞に最適な画像）
  - **スポーツ**（スポーツ観戦に最適な画像）
  - **ユーザー設定**（お好みに調整した画像）
- **コントラスト**：コントラストを調整します。
- **輝度**：明るさを調整します。
- **色の濃さ**：色の濃さを調整します。
- **色合い**：画像の色あいを調整します。
- **シャープネス**：シャープネスを調整します。

・**色温度** ：画像の色温度を設定します。
暖色（赤系を強調）
寒色（青系を強調）
標準
・**詳細設定**：ノイズリダクションや省エネセンサーなどの調整ができます。



◎詳細を設定するには
▲▼ボタンを押して項目を選択し、◀▶ボタンを押して選択した項目を調整できます。
選択できる内容は次の通りです：

・**ノイズリダクション**：
画面のノイズやざらつきを軽減します。
弱・中・強・オフを選択することができます。
・**ワイド切換**:
画像のアスペクト比を選択します。

オート	自動的に最適なアスペクト比で映します。
標準	通常のテレビ（4:3）の映像をそのまま映します。
ズーム	映像を拡大して映します。
ワイド	16：9 から 4：3 に圧縮された映像をもとの 16：9 に戻して画面いっぱいに映します。
シネマ	標準より横幅の広いワイドスクリーンの映画ソフトなどを画面いっぱいに映します。

ご注意

画像によっては最適な画面サイズで表示されない場合があります。

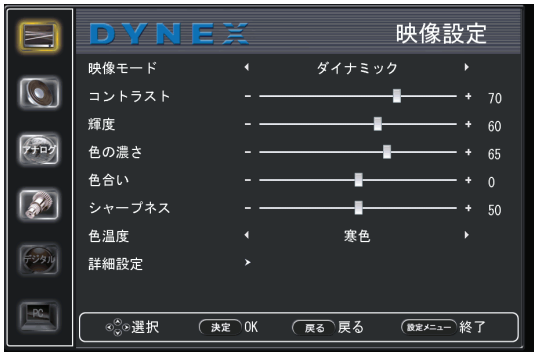
・**オーバースキャン**：
16：9 の映像を少し大きめに表示します。
・**バックライト**：
画面のバックライトを調節します。
省エネセンサー（下の項目参照）がオンに設定されているときには、調整できません。
・**省エネセンサー**：
室内の明るさをセンサーが自動的に感知して画面の明るさを調整します。

4 メニューを閉じるには、設定メニューボタンを押します。

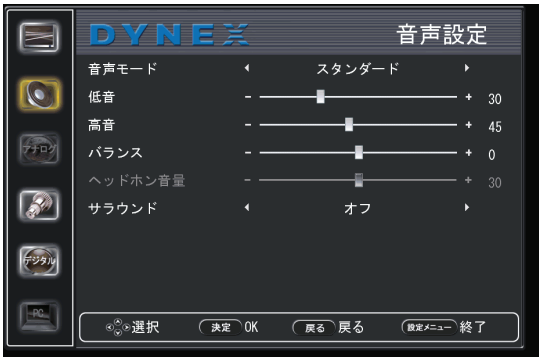
音声を調整する

音声を調整するには：

1 設定メニューボタンを押します。メニュー画面が表示されます。



2 ▲▼ボタンを押して音声設定を選択し、決定ボタンを押します。音声設定の画面が開きます。



3 ▲▼ボタンを押して項目を選択し、決定ボタンを押します。◀▶ボタンを押して選択した項目を調整できます。調整した後は決定ボタンを押してください。選択できる内容は次の通りです：

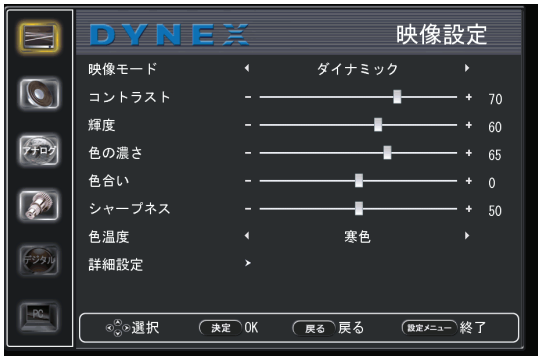
・**音声モード** ：音声モードを切換えます。選択できる内容は次の通りです。
・**スタンダード**
ニュース、ドラマなど人の声が聞きやすい設定
・**シネマ**
映画鑑賞に最適な迫力ある設定
・**ミュージック**
音楽鑑賞に最適な低音を強調した設定
・**ユーザー設定**
お好みに調整した設定
・**低音**：低音を調整します。
・**高音**：高音を調整します。
・**バランス** ：左右音声チャンネルのバランスを調整します。
・**ヘッドホン音量**
ヘッドホンの音量を調節できます。
ヘッドホン接続時は本体のスピーカーから音がでません。
・**サラウンド**：サラウンド効果を切換えます。

4 メニューを閉じるには、設定メニューボタンを押します。

地上アナログ放送を設定する

地上アナログ放送を設定するには：

1 リモコンの地上Aボタンを押します。
2 設定メニューボタンを押します。メニュー画面が表示されます。



3 ▲▼ボタンを押してチャンネル設定を選択し、決定ボタンを押します。チャンネル設定画面が表示されます。

4 ▲▼ボタンを押して項目を選択し、決定ボタンを押します。◀▶ボタンを押して選択した項目を調整できます。調整した後は決定ボタンを押してください。
選択できる内容は次の通りです：

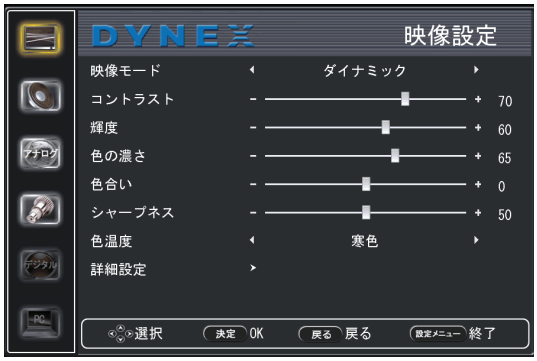
- **チャンネルスキャン**：
  お住まいの地域で視聴可能な地上アナログ放送をスキャンしてメモリーにチャンネル情報を登録します。
- **チャンネル追加**：
  メモリーにチャンネルを追加します。
- **リモコン番号・受信チャンネル**：
  リモコンの数字ボタンを押したときに選局するチャンネルを変更できます。設定方法は以下の通りです。
  例）リモコン番号「2」を押したら「99」チャンネルを視聴できるようにする場合
  - ▲▼ボタンを押し「リモコン番号」を選択し、◀▶ボタンを押し、「2」を選択します。
  - ▲▼ボタンを押し「受信チャンネル」を選択し、◀▶ボタンを押し、「99」を選択します。
- **微調整**：
  ◀▶ボタンを押して、受信中の映像が最も鮮明に見えるように、受信状態を微調整します。
- **スキップ**
  チャンネルをスキップする（とばす）には：
  - 数字ボタンまたは選局ボタンを押してスキップしたい番組を選択します。
  - 設定メニューボタンを押し、メニュー画面を表示します。
  - ▲▼ボタンを押しチャンネル設定を選択し、決定ボタンを押します。
  - ▲▼ボタンを押しスキップを選択します。
  - ◀▶ボタンを押し「オン」を選択し、決定ボタンを押します。（解除するときは設定を「オフ」にしてください。）

5 メニューを閉じるには、設定メニューボタンを押します。

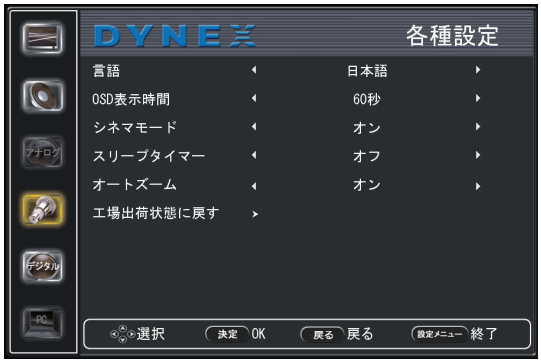
各種設定をする

各種設定をするには：

1 設定メニューボタンを押します。メニュー画面が表示されます。



2 ▲▼ボタンを押して各種設定を選択し決定ボタンを押します。メニュー画面が表示されます。



3 ▲▼ボタンを押して項目を選択し、決定ボタンを押します。◀▶ボタンを押して選択した項目を調整できます。調整した後は決定ボタンを押してください。選択できる内容は次の通りです：

- **言語**：
  メニュー画面の言語を選択します。
  日本語または英語を選択できます。
- **OSD 表示時間**：
  メニュー画面の表示時間を変更できます。
  ※最大 60 秒
- **シネマモード**：
  古い映画を視聴した際に、ノイズを低減します。
  ※ソフト（映画）によっては効果がえられないものもあります。
- **スリープタイマー**：
  スリープタイマーを設定すると、設定時間後に電源が切れて待機状態になります。
  ※電源が切れると設定は解除されます。
- **オートズーム**：
  画像を最適な大きさに自動で切り換えます。
- **工場出荷状態にもどす**：工場出荷状態に戻ります。

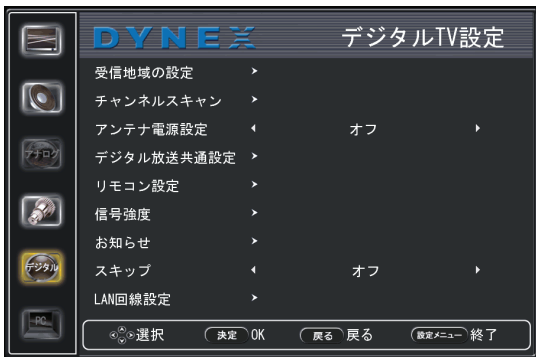
ご注意

工場出荷状態に戻すと、チャンネル設定、データ放送の個人情報などについても全て初期化されます。ご注意ください。

地デジ/BS/110 度 CS デジタル放送の設定をする

デジタル TV 設定を変更するには：

1 リモコンの地上 D、BS、または CS1/2 ボタンを押し、画面をデジタル放送に切換えます。
2 設定メニューボタンを押してください。
3 ▲▼ボタンを押し、デジタル TV 設定を選択し決定ボタンを押します。



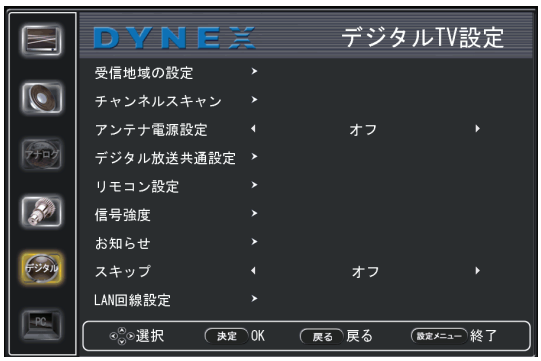
4 ▲▼ボタンを押して項目を選択し、決定ボタンを押します。◄►ボタンを押して選択した項目を調整できます。選択できる内容は次の通りです。
- 受信地域の設定
- チャンネルスキャン
- アンテナ電源設定
- デジタル放送共通設定
- リモコン設定
- 信号強度
- お知らせ
- スキップ
- LAN 回線設定

5 決定ボタンを押して選択を確定します。

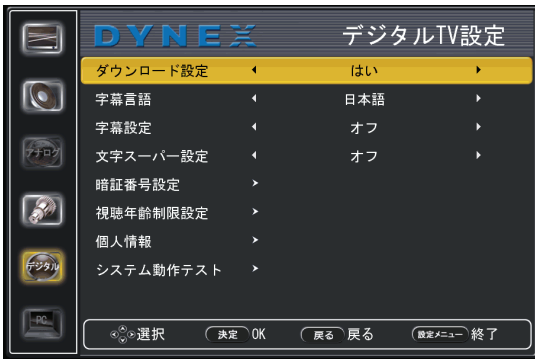
デジタル放送共通設定をする

デジタル放送共通設定を設定するには：

1 リモコンの地上 D、BS、または CS1/2 ボタンを押し、画面をデジタル放送に切換えます。
2 設定メニューボタンを押してください。
3 ▲▼ボタンを押し、デジタル TV 設定を選択し決定ボタンを押します。



4 ▲▼ボタンを押し、デジタル放送共通設定を選択し決定ボタンを押します。



5 ▲▼ボタンを押して項目を選択します。◄►ボタンを押し、設定を変更します。選択できる内容は次の通りです。
- **ダウンロード設定**：本機は BS や地上デジタルの放送波で送られるソフトウェアをダウンロードし自動更新する機能があります。お買い上げ時は自動ダウンロードするように設定されています。「はい」のまま、お使いいただくことをおすすめします。
- **字幕言語**： 字幕言語を選択します。日本語または英語（提供がある場合）を選択できます。
- **字幕設定**：オンにすると、字幕言語が有効になります。オフにすると、字幕言語が無効になります。本機能がオンになっていると、画面で字幕言語を見ることができます（情報がある場合）。
- **文字スーパー設定**：オンにすると、文字スーパーが有効となります（提供がある場合）。オフにすると、この機能は無効になります。
- **暗証番号設定**：視聴年齢制限設定のパスワードを設定／変更します。工場出荷時設定では、パスワードは 0000 となっています（変更することをお奨めします）。視聴年齢制限設定にはパスワードが必要です。
- **視聴年齢制限設定**：お子様に不適切なテレビ番組の視聴を制限します。視聴年齢制限で制限された番組を視聴するには、パスワードを入力する必要があります。詳細については、「暗証番号を設定し視聴できる番組を制限する」(25 ページ)をご覧ください。
- **個人情報**：地域設定、郵便番号などの設定を初期化します。
- **システム動作テスト**：B-CAS カードの情報やネットワーク（LAN 回線）の接続状況を確認できます。

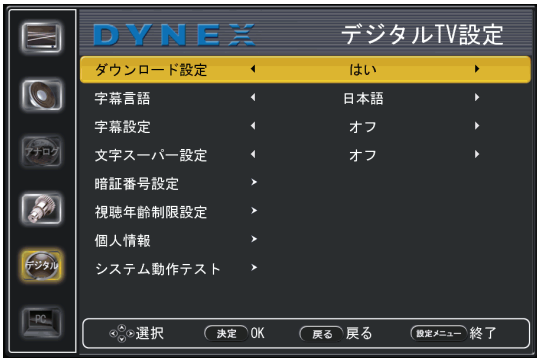
6 メニューを閉じるには、設定メニューボタンを押します。

暗証番号を設定し視聴できる番組を制限する

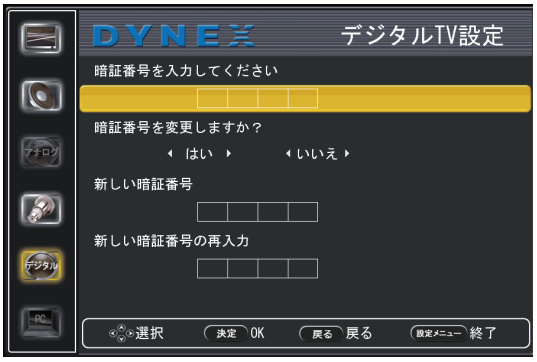
暗証番号を変更するには：

1 リモコンの地上 D、BS、または CS1/2 ボタンを押し、画面をデジタル放送に切換えます。
2 設定メニューボタンを押してください。
3 ▲▼ボタンを押し、デジタル TV 設定を選択し決定ボタンを押します。

4 ▲▼ボタンを押し、デジタル放送共通設定を選択し決定ボタンを押します。



5 ▲▼ボタンを押し暗証番号設定を選択し決定ボタンを押します。



6 数字ボタンを使用してパスワードを入力します。
（初期設定されているパスワードは 0000 です。）
7 暗証番号を変更する場合には、◀▶ボタンを押して「はい」を選択し、決定ボタンを押します。
8 数字ボタンを使用して新しい暗証番号を入力します。
9 確認のため、もう一度新しい暗証番号を入力します。
新しい暗証番号が作成されます。

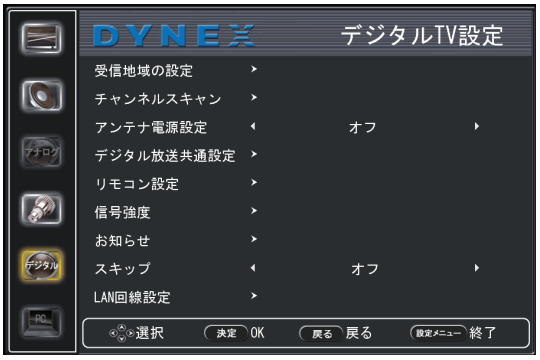
ご注意

・ パスワードはメモをして保管するようにしてください。
パスワードを忘れた場合には、9999 を押してください。

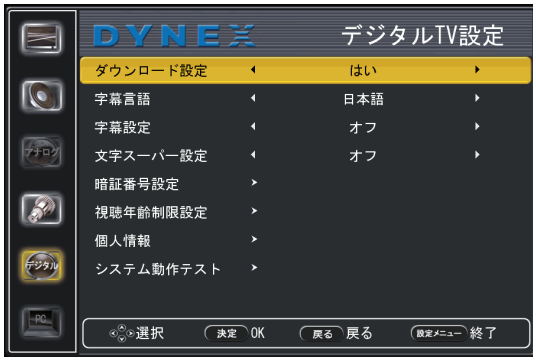
視聴年齢制限設定

視聴年齢制限設定を変更するには：

1 リモコンの地上 D、BS、または CS1/2 ボタンを押し、画面をデジタル放送に切換えます。
2 設定メニューボタンを押してください。
3 ▲▼ボタンを押し、デジタル TV 設定を選択し決定ボタンを押します。



4 ▲▼ボタンを押し、デジタル放送共通設定を選択し決定ボタンを押します。



5 ▲▼ボタンを押し視聴年齢制限設定を選択し決定ボタンを押します。

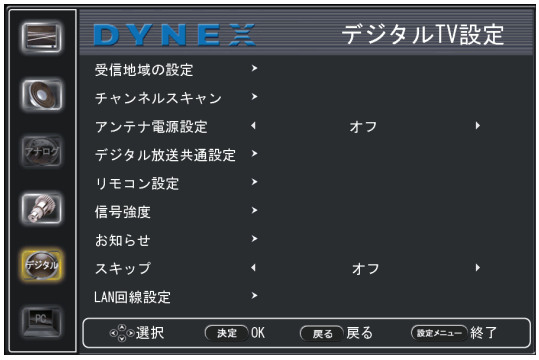
6 数字ボタンを使用してパスワードを入力します。
7 ◀▶ボタンを押して、視聴制限する年齢を設定します。
（４歳～ 21 歳）
例） １０歳以下のお子様に相応しくないテレビ番組を制限する場合には視聴年齢制限設定を１０歳に設定してください。視聴年齢制限設定を解除する場合には、「制限なし」を選択してください。

リモコン設定

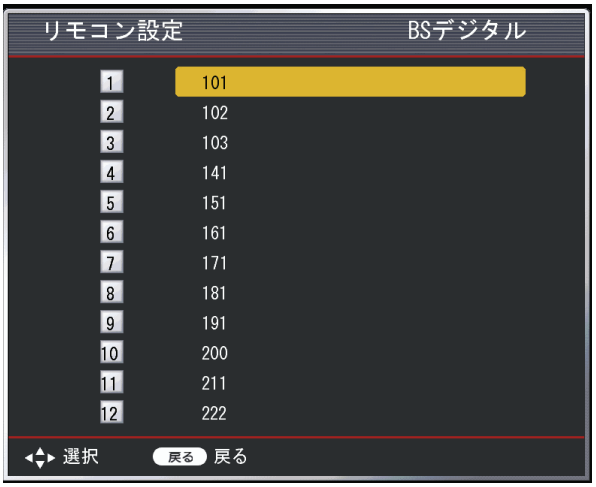
本機能は、数字ボタンをショートカットキーとして設定できます。

リモコンでショートカットキーを設定するには：

1 リモコンの地上 D、BS、または CS1/2 ボタンを押し、画面をデジタル放送に切換えます。
2 設定メニューボタンを押してください。
3 ▲▼ボタンを押し、デジタル TV 設定を選択し決定ボタンを押します。



4 ▲▼ボタンを押し、リモコン設定を選択し決定ボタンを押します。



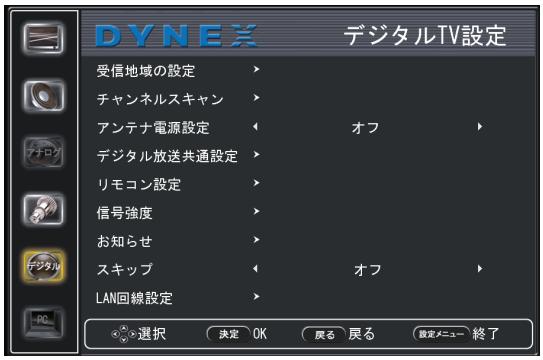
5 ▲▼ボタンを押しリモコンの番号を選択し◀▶ボタンを押し、リモコンに割りあてるチャンネルを選択します。例えばリモコンのボタン「1」を押したときにチャンネル「101」を視聴するよう設定したい場合には、▲▼ボタンを押して「1」を選択し、◀▶ボタンを押して、「101」を選択してください。終了するには戻るボタンを押します。

お知らせを見る

B-CAS カード情報、メール、ソフトウェアバージョンなどの情報を確認できます。

お知らせ画面を開くには：

1 リモコンの地上 D、BS、または CS1/2 ボタンを押し、画面をデジタル放送に切換えます。
2 設定メニューボタンを押してください。
3 ▲▼ボタンを押し、デジタル TV 設定を選択し決定ボタンを押します。



4 ▲▼ボタンを押し、お知らせを選択し決定ボタンを押します。

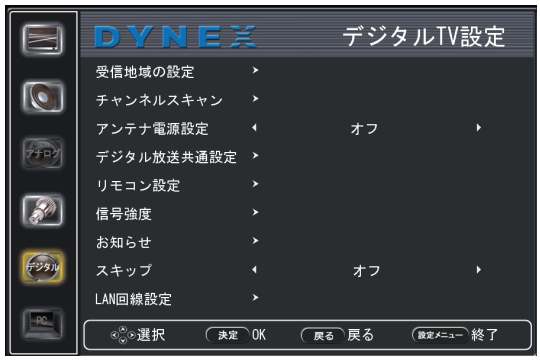
1	B-CAS カード情報：決定ボタンを押すと B-CAS カードの情報を確認できます。
2	メール：決定ボタンを押してアクセスします（この画面からメールを読んだり、削除できます。画面の指示に従って操作してください。）
3	ソフトウェアバージョン

チャンネルをスキップする（とばす）

選局＋／－ボタンを使って選局したときに不要なチャンネルをスキップすることができます。

チャンネルをスキップするには：

1 スキップしたいチャンネルを選択（視聴）します。
2 設定メニューボタンを押してメニュー画面を開きます。▲▼ボタンを押しデジタル TV 設定を選択し決定ボタンを押します。



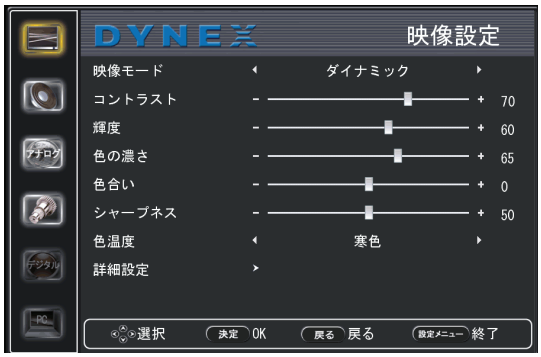
3 スキップを選択し、◀▶ボタンを押してオンを選択し決定ボタンを押します（解除するときは設定をオフにしてください）。

PC 設定をする

外部モニターで表示できるようにパソコンを設定してください。詳しくはパソコンの取扱説明書をご覧ください。テレビで対応していない信号を受信すると正しく表示できません。

PC 設定をするには：

1 入力切換ボタンを押し、▲▼ボタンを押して PC を選択し決定ボタンを押します。
2 設定メニューボタンを押します。メニュー画面が開きます。



3 ▲▼ボタンを押して PC 設定を選択し、決定ボタンを押します。PC 設定メニューが開きます。

4 ▲▼ボタンを押して項目を選択し、決定ボタンを押します。◀▶ ボタンを押して選択した項目を調整できます。選択できる内容は次の通りです：
- **水平位置**：画像を左右に移動させます。
- **垂直位置**：画像を上下に移動させます。
- **位相**：文字などを表示したときに、映像のチラツキが出たり、コントラストがつかないときに調整します。
- **クロック周波数**：縦じま状のチラツキがあるときに調整します。
- **自動調整**：画面位置やクロック周波数などを自動的に調整します。

5 メニューを閉じるには、設定メニューボタンを押します。

壁掛け金具を取り付ける

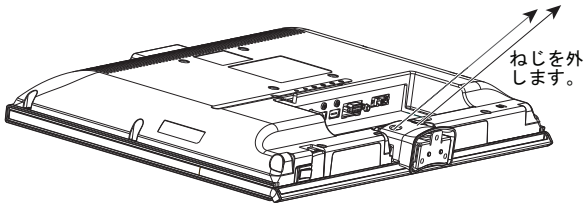
ご注意

壁掛け設置工事が不完全な場合、本機が落下しけがの原因となる恐れがあります。壁掛け設置をする際には必ずお買い上げの販売店にご相談ください。

壁掛け金具（別売）を本機に取り付けるには、スタンドとスタンドの支柱を取り外す必要があります。

スタンドの支柱を取り外すには：

1 傷がつかないように注意して本体をテーブルなどの上に置いてください。
※柔らかいクッションや布などをテーブルなどの上に敷いてからテレビを置いてください。
2 スタンドを固定しているネジを外し、スタンドを取り外します。
3 スタンドの支柱を固定しているネジを外し、支柱を取り外します。

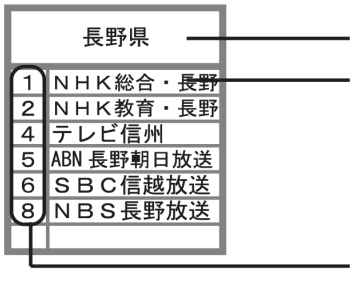


ご注意

- 壁掛け金具は、VESA 規格に準じたものを使用してください。お買い上げの販売店にご相談ください。
- イラスト内の製品はあくまで説明用のものです。実際の製品外観とは異なる場合があります。

地上デジタル放送チャンネル一覧

地上デジタル放送チャンネル一覧



表：H. 19. 11. 30 現在

北海道（帯広）		北海道（釧路）		北海道（北見）		北海道（旭川）		北海道（旭川　空知）	
3	ＮＨＫ総合・帯広	3	ＮＨＫ総合・釧路	3	ＮＨＫ総合・北見	3	ＮＨＫ総合・旭川	3	ＮＨＫ総合・旭川
2	ＮＨＫ教育・帯広	2	ＮＨＫ教育・釧路	2	ＮＨＫ教育・北見	2	ＮＨＫ教育・旭川	2	ＮＨＫ教育・旭川
1	ＨＢＣ帯広	1	ＨＢＣ釧路	1	ＨＢＣ北見	1	ＨＢＣ旭川	1	ＨＢＣ旭川
5	ＳＴＶ帯広	5	ＳＴＶ釧路	5	ＳＴＶ北見	5	ＳＴＶ旭川	5	ＳＴＶ旭川
6	ＨＴＢ帯広	6	ＨＴＢ釧路	6	ＨＴＢ北見	6	ＨＴＢ旭川	6	ＨＴＢ旭川
8	ＵＨＢ帯広	8	ＵＨＢ釧路	8	ＵＨＢ北見	8	ＵＨＢ旭川	8	ＵＨＢ旭川
7	ＴＶＨ帯広	7	ＴＶＨ釧路	7	ＴＶＨ北見	7	ＴＶＨ旭川	7	ＴＶＨ旭川
北海道（札幌）		北海道（函館）		北海道（室蘭）		青森県		岩手県	
3	ＮＨＫ総合・札幌	3	ＮＨＫ総合・函館	3	ＮＨＫ総合・室蘭	3	ＮＨＫ総合・青森	1	ＮＨＫ総合・盛岡
2	ＮＨＫ教育・札幌	2	ＮＨＫ教育・函館	2	ＮＨＫ教育・室蘭	2	ＮＨＫ教育・青森	2	ＮＨＫ教育・盛岡
1	ＨＢＣ札幌	1	ＨＢＣ函館	1	ＨＢＣ室蘭	1	ＲＡＢ青森放送	6	ＩＢＣテレビ
5	ＳＴＶ札幌	5	ＳＴＶ函館	5	ＳＴＶ室蘭	6	ＡＴＶ青森テレビ	4	テレビ岩手
6	ＨＴＢ札幌	6	ＨＴＢ函館	6	ＨＴＢ室蘭	5	青森朝日放送	8	めんこいテレビ
8	ＵＨＢ札幌	8	ＵＨＢ函館	8	ＵＨＢ室蘭			5	岩手朝日テレビ
7	ＴＶＨ札幌	7	ＴＶＨ函館	7	ＴＶＨ室蘭				
宮城県		秋田県		山形県		福島県		茨城県	
3	ＮＨＫ総合・仙台	1	ＮＨＫ総合・秋田	1	ＮＨＫ総合・山形	1	ＮＨＫ総合・福島	1	ＮＨＫ総合・水戸
2	ＮＨＫ教育・仙台	2	ＮＨＫ教育・秋田	2	ＮＨＫ教育・山形	2	ＮＨＫ教育・福島	2	ＮＨＫ教育・東京
1	ＴＢＣテレビ	4	ＡＢＳ秋田放送	4	ＹＢＣ山形放送	8	福島テレビ	4	日本テレビ
8	仙台放送	8	ＡＫＴ秋田テレビ	5	ＹＴＳ山形テレビ	4	福島中央テレビ	6	ＴＢＳ
4	ミヤギテレビ	5	AAB 秋田朝日放送	6	テレビユー山形	5	ＫＦＢ福島放送	8	フジテレビジョン
5	ＫＨＢ東日本放送			8	さくらんぼテレビ	6	テレビユー福島	5	テレビ朝日
								7	テレビ東京
								12	放送大学
栃木県		群馬県		埼玉県		千葉県		東京都	
1	ＮＨＫ総合・東京	1	ＮＨＫ総合・東京	1	ＮＨＫ総合・東京	1	ＮＨＫ総合・東京	1	ＮＨＫ総合・東京
2	ＮＨＫ教育・東京	2	ＮＨＫ教育・東京	2	ＮＨＫ教育・東京	2	ＮＨＫ教育・東京	2	ＮＨＫ教育・東京
4	日本テレビ	4	日本テレビ	4	日本テレビ	4	日本テレビ	4	日本テレビ
6	ＴＢＳ	6	ＴＢＳ	6	ＴＢＳ	6	ＴＢＳ	6	ＴＢＳ
8	フジテレビジョン	8	フジテレビジョン	8	フジテレビジョン	8	フジテレビジョン	8	フジテレビジョン
5	テレビ朝日	5	テレビ朝日	5	テレビ朝日	5	テレビ朝日	5	テレビ朝日
7	テレビ東京	7	テレビ東京	7	テレビ東京	7	テレビ東京	7	テレビ東京
3	とちぎテレビ	3	群馬テレビ	3	テレ玉	3	チバテレビ	9	TOKYO MX
12	放送大学	12	放送大学	12	放送大学	12	放送大学	12	放送大学

地上デジタル放送チャンネル一覧

東京都（伊豆小笠原）	
1	ＮＨＫ総合・東京
2	ＮＨＫ教育・東京
4	日本テレビ
6	ＴＢＳ
8	フジテレビジョン
5	テレビ朝日
7	テレビ東京
9	TOKYO MX
12	放送大学

神奈川県	
1	ＮＨＫ総合・東京
2	ＮＨＫ教育・東京
4	日本テレビ
6	ＴＢＳ
8	フジテレビジョン
5	テレビ朝日
7	テレビ東京
3	tvk
12	放送大学

新潟県	
1	ＮＨＫ総合・新潟
2	ＮＨＫ教育・新潟
6	ＢＳＮ
8	ＮＳＴ
4	TeNY テレビ新潟
5	新潟テレビ２１

富山県	
3	ＮＨＫ総合・富山
2	ＮＨＫ教育・富山
1	ＫＮＢ北日本放送
8	ＢＢＴ富山テレビ
6	チューリップテレビ

石川県	
1	ＮＨＫ総合・金沢
2	ＮＨＫ教育・金沢
4	テレビ金沢
5	北陸朝日放送
6	ＭＲＯ
8	石川テレビ

福井県	
1	ＮＨＫ総合・福井
2	ＮＨＫ教育・福井
7	ＦＢＣテレビ
8	福井テレビ

山梨県	
1	ＮＨＫ総合・甲府
2	ＮＨＫ教育・甲府
4	ＹＢＳ山梨放送
6	ＵＴＹ

長野県	
1	ＮＨＫ総合・長野
2	ＮＨＫ教育・長野
4	テレビ信州
5	abn長野朝日放送
6	ＳＢＣ信越放送
8	ＮＢＳ長野放送

岐阜県	
3	ＮＨＫ総合・岐阜
2	NHK 教育・名古屋
1	東海テレビ
5	ＣＢＣ
6	メ～テレ
4	中京テレビ
8	岐阜テレビ

静岡県	
1	ＮＨＫ総合・静岡
2	ＮＨＫ教育・静岡
6	ＳＢＳ
8	テレビ静岡
4	静岡第一テレビ
5	静岡朝日テレビ

愛知県	
3	NHK 総合・名古屋
2	NHK 教育・名古屋
1	東海テレビ
5	ＣＢＣ
6	メ～テレ
4	中京テレビ
10	テレビ愛知

三重県	
3	ＮＨＫ総合・津
2	NHK 教育・名古屋
1	東海テレビ
5	ＣＢＣ
6	メ～テレ
4	中京テレビ
7	三重テレビ

滋賀県	
1	ＮＨＫ総合・大津
2	ＮＨＫ教育・大阪
4	ＭＢＳ毎日放送
6	ＡＢＣテレビ
8	関西テレビ
10	読売テレビ
3	ＢＢＣびわ湖放送

京都府	
1	ＮＨＫ総合・京都
2	ＮＨＫ教育・大阪
4	ＭＢＳ毎日放送
6	ＡＢＣテレビ
8	関西テレビ
10	読売テレビ
5	ＫＢＳ京都

大阪府	
1	ＮＨＫ総合・大阪
2	ＮＨＫ教育・大阪
4	ＭＢＳ毎日放送
6	ＡＢＣテレビ
8	関西テレビ
10	読売テレビ
7	テレビ大阪

兵庫県	
1	ＮＨＫ総合・神戸
2	ＮＨＫ教育・大阪
4	ＭＢＳ毎日放送
6	ＡＢＣテレビ
8	関西テレビ
10	読売テレビ
3	サンテレビ

奈良県	
1	ＮＨＫ総合・奈良
2	ＮＨＫ教育・大阪
4	ＭＢＳ毎日放送
6	ＡＢＣテレビ
8	関西テレビ
10	読売テレビ
9	奈良テレビ

和歌山県	
1	NHK 総合・和歌山
2	ＮＨＫ教育・大阪
4	ＭＢＳ毎日放送
6	ＡＢＣテレビ
8	関西テレビ
10	読売テレビ
5	テレビ和歌山

鳥取県	
3	ＮＨＫ総合・鳥取
2	ＮＨＫ教育・鳥取
8	山陰中央テレビ
6	ＢＳＳテレビ
1	日本海テレビ

島根県	
3	ＮＨＫ総合・松江
2	ＮＨＫ教育・松江
8	山陰中央テレビ
6	ＢＳＳテレビ
1	日本海テレビ

岡山県	
1	ＮＨＫ総合・岡山
2	ＮＨＫ教育・岡山
4	RNC 西日本テレビ
5	KSB 瀬戸内海放送
6	ＲＳＫテレビ
7	テレビせとうち
8	ＯＨＫテレビ

広島県	
1	ＮＨＫ総合・広島
2	ＮＨＫ教育・広島
3	ＲＣＣテレビ
4	広島テレビ
5	広島ホームテレビ
8	ＴＳＳ

山口県	
1	ＮＨＫ総合・山口
2	ＮＨＫ教育・山口
4	ＫＲＹ山口放送
3	ｔｙｓテレビ山口
5	ｙａｂ山口朝日

徳島県	
3	ＮＨＫ総合・徳島
2	ＮＨＫ教育・徳島
1	四国放送

香川県	
1	ＮＨＫ総合・高松
2	ＮＨＫ教育・高松
4	RNC 西日本テレビ
5	KSB 瀬戸内海放送
6	ＲＳＫテレビ
7	テレビせとうち
8	ＯＨＫテレビ

愛媛県	
1	ＮＨＫ総合・松山
2	ＮＨＫ教育・松山
4	南海放送
5	愛媛朝日
6	あいテレビ
8	テレビ愛媛

高知県	
1	ＮＨＫ総合・高知
2	ＮＨＫ教育・高知
4	高知放送
6	テレビ高知
8	さんさんテレビ

福岡県	
3	ＮＨＫ総合・福岡
3	NHK 総合・北九州
2	ＮＨＫ教育・福岡
2	NHK 教育・北九州
1	KBC 九州朝日放送
4	ＲＫＢ毎日放送
5	ＦＢＳ福岡放送
7	ＴＶＱ九州放送
8	TNC テレビ西日本

佐賀県	
1	ＮＨＫ総合・佐賀
2	ＮＨＫ教育・佐賀
3	ＳＴＳサガテレビ

長崎県	
1	ＮＨＫ総合・長崎
2	ＮＨＫ教育・長崎
3	ＮＢＣ長崎放送
8	ＫＴＮテレビ長崎
5	NCC 長崎文化放送
4	NIB 長崎国際テレビ

地上デジタル放送チャンネル一覧

熊本県	
1	ＮＨＫ総合・熊本
2	ＮＨＫ教育・熊本
3	ＲＫＫ熊本放送
8	ＴＫＵテレビ熊本
4	KKT くまもと県民
5	KAB 熊本朝日放送

大分県	
1	ＮＨＫ総合・大分
2	ＮＨＫ教育・大分
3	ＯＢＳ大分放送
4	ＴＯＳテレビ大分
5	OAB 大分朝日放送

宮崎県	
1	ＮＨＫ総合・宮崎
2	ＮＨＫ教育・宮崎
6	ＭＲＴ宮崎放送
3	ＵＭＫテレビ宮崎

鹿児島県	
3	NHK 総合・鹿児島
2	NHK 教育・鹿児島
1	ＭＢＣ南日本放送
8	KTS 鹿児島テレビ
5	KKB 鹿児島放送
4	KYT 鹿児島読売 TV

鹿児島県（南西諸島）	
3	NHK 総合・鹿児島
2	NHK 教育・鹿児島
1	ＭＢＣ南日本放送
8	KTS 鹿児島テレビ
5	KKB 鹿児島放送
4	KYT 鹿児島読売 TV

沖縄県	
1	ＮＨＫ総合・那覇
2	ＮＨＫ教育・那覇
3	ＲＢＣテレビ
5	QAB 琉球朝日放送
8	沖縄テレビ（OTV）

※掲載外の地域については、販売店にご相談ください。

仕様

外観および仕様は予告なく変更されることがあります。

商品名	地上・BS・110 度 CS デジタルハイビジョン液晶テレビ
型番	DX-19E150J11（19 インチ） DX-26E150J11（26 インチ）
バックライト	LED
チューナー	地上アナログ、地上デジタル、BS デジタル、110 度 CS デジタル
電源	AC100V 50/60 Hz
消費電力	28W（19 インチ）: 60W（26 インチ） 待機時電力：0.4W（19 インチ、26 インチ）
年間消費電力量	42 kWh/ 年（19 インチ） 70 kWh/ 年（26 インチ）
区分名	DK（19 インチ） DC（26 インチ）
スピーカーサイズ	70 × 30 mm（19 インチ） 90 × 30 mm（26 インチ）
オーディオ出力	3 W × 2（19 インチ） 5 W × 2（26 インチ）
動作温度	5 ℃ ～ 40 ℃
外形寸法（幅×高さ×奥行）	DX-19E150J11 460 × 333 × 140 mm （スタンドを含む） 460 × 307 × 55 mm（スタンドを含まず） DX-26E150J11 631 × 443 × 176 mm（スタンドを含む） 631 × 414 × 45 mm（スタンドを含まず）
質量	DX-19E150J11 3.8 kg（スタンドを含む） 3.2 kg（スタンドを含まず） DX-26E150J11 6.0 kg（スタンドを含む） 5.3 kg（スタンドを含まず）
接続端子	VHF/UHF 用アンテナ端子（1） BS/110 度 CS 用アンテナ端子（1） ビデオ入力端子（1） S 映像入力端子（1） D5 映像入力端子（1） PC アナログ入力端子（ミニ D-sub15 ピン、ステレオミニ） HDMI 入力端子（2） LAN 端子（1） ヘッドホン接続端子（1）
付属品	リモコン 単 4 電池（2 個） スタンド一式 　スタンド（１） 　固定用ネジ（３） 転倒・落下防止部品一式 　ベルト（１） 　取り付けネジ（２） 取扱説明書 簡単セットアップガイド 保証書 ファーストステップガイド

困ったときには

こんな時には	確認事項	対処の方法
電源が入らない	・電源プラグがコンセントから抜けていませんか ・本体の電源スイッチは入っていますか ・リモコンの電池が切れている	・電源プラグをコンセントに差し込む ・本体の電源スイッチを入れる ・リモコンの電池を新しい電池と交換する
映像も音声も出ない	・B-CAS カードは正しく挿入されていますか ・テレビ放送を見たいのに、ビデオ入力などになっていませんか ・アンテナ線が外れていませんか ・アンテナをさえぎる障害物はありませんか ・アンテナの向きがずれていませんか ・信号強度は低くなっていませんか ・アンテナは電波の種類（地上デジタル、BS、110 度 CS 放送）に適合したアンテナを使用していますか ・BS、110 度 CS 放送の場合、地域に適したサイズ（口径）のアンテナを使用していますか ・春分や秋分の前後 20 日程度は、人工衛星が地球の陰になるため、深夜一時的に電波が止まる場合があります ・BS、110 度 CS 放送だけが映らない場合にはアンテナ電源供給が OFF になっていませんか	・B-CAS カードを挿し直す ・地上 D または BS、CS1/2、地上 A ボタンを押し放送を切り換える ・アンテナ線を接続する ・木などの障害物がある場合には、お買い上げの販売店にご相談ください ・アンテナの向きを調整する ・信号強度を確認してください（取扱説明書 P16 参照）。信号強度が低い場合には、お買い上げの販売店にご相談ください ・お買い上げの販売店にご相談ください ・お買い上げの販売店にご相談ください ・故障ではありません ・マンションなどの共聴アンテナ以外では、アンテナ電源供給を ON にしてください。（取扱説明書 P16 参照）
引越しをしたら映らなくなった	・引越した場合には、再度チャンネル設定をする必要があります。チャンネル設定をしましたか	・チャンネル設定をする（取扱説明書 P14 参照）
特定のチャンネルだけが映らない	・チャンネルの受信設定がずれていませんか ・契約していない有料放送ではありませんか ・アンテナとの接続にデジタル放送に対応していないケーブルや機器を使用していませんか	・チャンネル設定をする（取扱説明書 P14 参照） ・視聴手続きをする ・ケーブルや機器をデジタル放送対応のものと交換する
有料放送が視聴できない	・B-CAS カードは正しく挿入されていますか ・有料放送を視聴するための手続きはお済みですか	・B-CAS カードを挿し直す ・視聴手続をする
引越しをしたら、文字スーパー表示やデータ放送が表示されなくなった	・データ放送の地域設定は正しいですか	・新住所にあわせて地域設定を再設定する（取扱説明書 P16参照）
電子番組表が表示されない	・電源を入れた後、最初に番組表を表示する際は、番組表データの受信に時間がかかります。しばらくお待ちください。	・故障ではありません。

こんな時には	確認事項	対処の方法
映像は出るが音声がでない。または音声は出るが映像がでない	・映像・音声接続ケーブルが抜けていませんか	・映像・音声接続ケーブルを接続する
ビデオが映らない	・ビデオ機器の電源プラグがコンセントから抜けていませんか ・ビデオ機器の電源は入っていますか ・ビデオ機器からアンテナケーブルがはずれていませんか ・入力切換は再生する機器を選択していますか	・ビデオ機器の電源プラグをコンセントに差し込む ・ビデオ機器の電源を入れる ・ビデオ機器のアンテナケーブルを接続する ・入力切換ボタンを数回押し再生する機器を選択する
リモコンが動作しない	・乾電池の極性(+)(−)が逆になっていませんか ・リモコンの電池が消耗していませんか ・テレビとの距離が遠くありませんか ・リモコンをテレビの方向に向けていますか ・リモコンと本体の間に障害物がありませんか ・リモコン受光部に直射日光や照明など強い光が当っていませんか	・乾電池を正しい向きに入れなおす ・新しい乾電池と交換する ・リモコンの受信可能距離（約 5m 以内）で使用する ・本体前面左下のリモコン受光部にリモコンを向ける ・障害物を片付ける ・リモコン受光部に強い光が当っているとリモコンが動作しにくくなります。照明の向きを変えるなどしてください。 ・受信設備減衰のために（映りなどに影響することもあります）操作切換が遅くなることがあります。（天候などの環境で信号強度の数値が変動するとノイズの影響を受けます。）
・音声がでない	・音量が最小になっていませんか ・消音になっていませんか ・ヘッドホンのプラグがヘッドホン端子に差し込まれていませんか	・音量を上げる ・音量調節ボタンを押す ・ヘッドホン端子からヘッドホンのプラグをはずす
色が薄い、色合いが悪い	・色の濃さ、色合いは正しく調整されていますか	・色の濃さ、色合いを調整する （取扱説明書 P21 参照）
画面にノイズが出る	・UHF/VHF のアンテナケーブルが BS、110 度 CS のアンテナケーブルと接近していませんか	・2 つのアンテナケーブルを離して設置する
モザイク状のノイズ（ブロックノイズ）が出る	・積雪や豪雨、雷などが発生していませんか ・特に動きの激しい画面で発生しますか	・デジタル放送受信の特性上、以下のような場合に発生することがあります。故障ではありません。 ＊降雨対応放送の映像の場合 ＊悪天候などで受信状態が悪化した場合 ＊画面の激しい変化に映像処理が対応できない場合

こんな時には	確認事項	対処の方法
テレビの上部が熱い	内部の回路から発生する熱で温まった空気が本体上部を通って抜ける構造になっている為、上部が温かくなります	・故障ではありません
ときどき「ピシッ」と音がする	温度の変化により、キャビネットがわずかに伸縮する音です	・故障ではありません
リモコンや本体の操作ができない	・外部からの雑音や妨害ノイズが原因の可能性があります	本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて約 1 分放置した後、再度差し込み電源を入れる

保証書とアフターサービスについて

本機は日本国内専用です。電源電圧や放送規格の異なる海外ではお使いになれません。
This television is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.

保証書について

・この製品は保証書が添付されています。お買い上げの際、お買い上げの販売店からお受け取りください。
・所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保管してください。
・保証期間は、お買い上げ日より 1 年間です。
・本機のメモリーに保存されたデータは、保証の対象外です。

修理アフターサービス

修理を依頼されるときは、まず『困ったときには』の項を参考にして故障かどうかお調べください。
それでも具合が悪い時は **ケーズデンキ** サービスセンター またはお買い上げの販売店にご相談ください。
ご相談になるときは次のことをお知らせください。

商品名：地上・BS・110 度 CS デジタルハイビジョン液晶テレビ
型名： DX-19E150J11、DX-26E150J11
故障の状態：できるだけ詳しく
購入年月日：

部品の交換について

修理の際に交換した部品を再生、再利用する場合があります。その際に交換した部品は回収させていただきます。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは、保証書をご覧ください。
何らかの原因で本機に記録されたデータ等が変化・消失された場合など、いかなる場合においても記録内容の補償及びそれに付随するあらゆる損害について、当社は一切責任を負いかねます。予めご了承ください。
また、本機を使用できなかったことによる付随的損害について、いかなる場合においても当社は一切責任を負いかねます。予めご了承ください。

保証期間経過後の修理は

診断をして修理ができる場合は、ご要望により有料で修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社では、カラーテレビの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を製造打ち切り後 8 年間保有しています。

転居や贈答品などでお困りの場合は

以下の窓口にご相談ください。

お問合せ先 ：**ケーズデンキ**サービスセンター
フリーダイヤル ：0120-820-806
受付時間 ：9:00 ～ 19:00 年中無休（元日を除く）
FAX：0120-502-331 URL：http://www.ksdenki.com

放送などに関するアフターサービス

・BS デジタル、110 度 CS デジタルの放送局と受信契約や番組に関しては、ご覧になりたい放送局や衛星サービス会社のカスタマーセンター、B-CAS カードカスタマーセンターにお問い合わせください。

B-CAS カスタマーセンター
電話番号 0570-000-250
受付時間　10:00 ～ 20:00 年中無休

・デジタル放送全般については（社）デジタル放送推進協会（Dpa）のホームページをご覧ください。

（社）デジタル放送推進協会
http://www.dpa.or.jp/

・地上デジタルの受信相談については、総務省地デジコールセンターにお問い合わせください。

総務省地デジコールセンター
電話番号 0570-07-0101　※IP 電話などの場合　03-4334-1111
受付時間　平日 9:00 ～ 21:00　土・日・祝日 9:00 ～ 18:00

ケーズデンキ サービスセンターでお受けした個人情報は、本製品に関するアフターサービス（お問合せおよび保証期間内の修理、製品の安全点検に関するご案内）のために利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。当社は、お客様の個人情報を適切に管理し修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に個人情報を開示・提供いたしません。

商標について

HDMI、HDMIロゴ、およびHigh-Definition Multimedia Interfaceは、HDMI Licensing,LLCの商標または登録商標です。

廃棄について

家電リサイクル法では、お客様がご使用済みの液晶テレビを廃棄される場合は、収集・運搬料金、再商品化等料金（リサイクル料金）をお支払いいただき、対象品を販売店や市町村に適正に引き渡すことが求められています。

OPEN SOURCE SOFTWARE NOTICE

GPLv2 ,LGPLv2, and LGPLv3:
The software included in this product contains copyrighted software that is licensed under GPL (version 2), LGPL (version 2), or LGPL (version 3). You can obtain a copy of the GPLv2 license from http://www.gnu.org/licenses/old-licenses/gpl-2.0.html, the LGPLv2 from http://www.gnu.org/licenses/old-licenses/lgpl-2.1.html or the LGPLv3 from http://www.gnu.org/licenses/lgpl.html.

GPLv2 covered software:
Linux 2.6.21, BusyBox, dhcpcd, hotplug, utelnetd, ldconfig, ldd, strace, gdb, Buildroot, toolchain

LGPLv2 covered software:
ld-uClibc, libcrypt, libdl, libgcc_s, libm, libncurses, libnsl, libpthread, libresolv, librt, libthrad_db, libutil

LGPLv3 covered software:
klib,

If you require additional information or you wish to receive the complete corresponding GPLv2, LGPLv2, and LGPLv3 licensed source code, please call the Insignia support line at 1-877-467-4289. This source code is available for a period of three (3) years from the date of the distribution of this product by Insignia.

Other open source and software notices:
In addition, portions of the software contained in the Television are copyright © 2010, The FreeType Project (www.freetype.org). All rights reserved.

This product also contains "Portmap"Copyright © 1990 The Regents of the University of California, All Rights Reserved.

This product also includes the following:
png: Copyright Contributing Authors and Group 42, Inc.
zlib: Copyright © 1995-2004 Jean-loup Gailly and Mark Adler

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS"WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGMEENT OF THIRD PARTY RIGHTS. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT, OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

DYNEX™

Distributed by Best Buy Purchasing, LLC
7601 Penn Ave. South, Richfield, MN 55423 U.S.A.
© 2010 BBY Solutions, Inc. All rights reserved
DYNEX is a trademark of BBY Solutions, Inc. Registered in some countries. All other products and brand names are trademarks of their respective owners

10-0784
JAPANESE